

災害環境-1 足利市の主な山

名 称	所 在 地	高 さ (m)	備 考
仙人ヶ岳	小 俣 町	海拔 663	
赤 雪 山	松 田 町	〃 621	
深 高 山	粟 谷 町	〃 508	
石 尊 山	小 俣 町	〃 486	
行 道 山	月 谷 町	〃 441.6	
ダルマ山	名草上町	〃 435.2	
秋 葉 山	名草上町	〃 431.6	
大 小 山	西 場 町	〃 313	
両 崖 山	本 城	〃 258	
浅 間 山	田 中 町	〃 103	

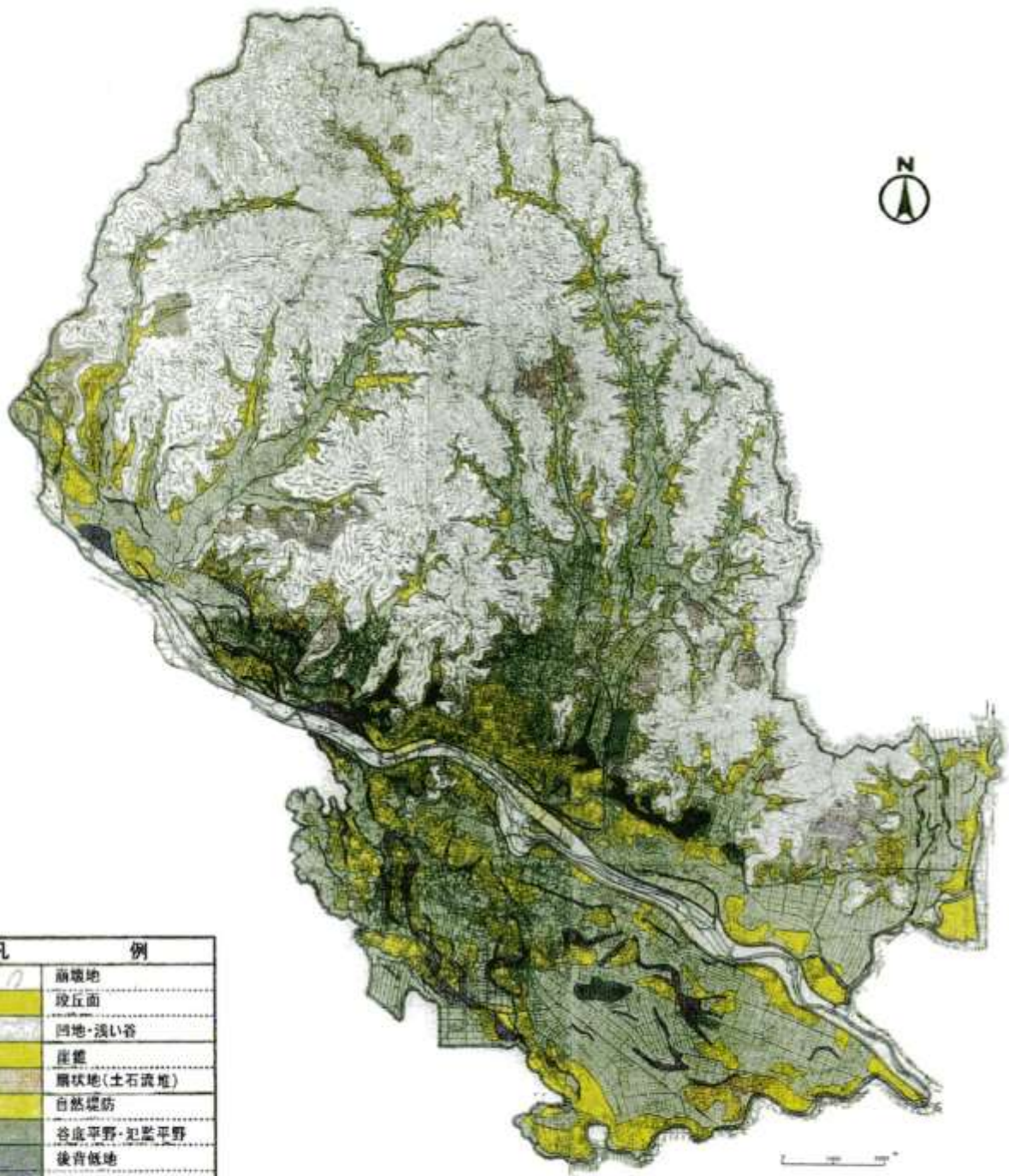
災害環境-2 足利市の主な川

河川区分	河川名	管内流路延長 (km)	川幅 (m)	管理区分
1 級	渡良瀬川	左岸 16.8 右岸 14.0	中 橋 280	国土交通省
〃	矢場川	左岸 21.0 右岸 7.0	新宿橋 9	国土交通省及び 栃木県
〃	旗川	5.3	白旗橋 9.5	〃
〃	松田川	14.0	松田橋 9	〃
〃	桐生川	左岸 2.8 右岸 2.2	境橋 55	国土交通省
〃	姥川	5.5	姥川橋 5	栃木県
〃	出流川	5.8	弁天橋 8	〃
〃	袋川	9.0	新山戸橋 38	〃
〃	長途路川	3.5	和田橋 4	9〃
〃	名草川	11.0	下宿橋 16	〃
〃	栗谷川	3.0	相生橋 5	〃
〃	小俣川	8.8	多々羅橋 11	〃
〃	清水川	1.9	岩脇橋 7	〃
〃	蓮岱寺川	3.7	蓮岱寺橋 7.2	〃
〃	彦谷川	2.5	弁才橋 2	〃
〃	田島川	5.0	翁橋 5	〃
〃	尾名川	3.0	磯橋 9	〃
準用	尾名川	1.65	八椏橋 14	足利市
〃	姥川	2.42	和泉橋 9.8	〃

(注) 矢場川、旗川、松田川の国土交通省管理区域と栃木県管理区域との境界は次のとおりである。

河川名	境界標の位置	国土交通省管理区域	栃木県管理区域
矢場川	県町地内旭橋下流端	境界から渡良瀬川 合流点まで	境界から上流
旗川	寺岡町地内元三大師山裾	〃	〃
松田川	葉鹿下町地内県道桐生岩舟線 (松田橋) より 150m 下流	〃	〃

災害環境-3 足利市の微地形分類図



凡		例
山地	0.0	崩壊地
台地・段丘		段丘面
山地		凹地・浅い谷
山地		崖壁
山地		扇状地(土石流地)
低地・集水地形・水部		自然堤防
		谷底平野・氾濫平野
		後背低地
		旧河道
		高水敷
		低水敷
人工地形		河川、水源地および水面
		人工改良(造成地)
		盛土地・堤防
		埋土地

災害環境-4 栃木県の地震被害

年月日	震災地	被害の概要
818. -- (弘仁 9. 7. --)	関東 諸国	M (マグニチュード) 7.5 以上。相模・武蔵・下総・常陸・上野・下野などで、大地震が発生し、山崩れなどで多数の圧死者が出た。【※栃木県内の被害不明】
1649. 7. 30 (慶安 2. 6. 21) 丑刻	武蔵・ 下野	M7.0 以上。江戸城二の丸石垣・塀破損、その他の城の石垣崩れ、侍屋敷・町屋の破損が多く、圧死者も多く発生。上野東照宮の大仏の頭が落ち、日光東照宮の石垣破損し、相輪塔傾く。余震日々40～50回。
1659. 4. 21 (万治 2. 2. 30)	岩代・ 下野	M6.75～7.0。塩原温泉一村(約80戸)がほとんど土砂に埋まり、死者多数発生。那須でも100余棟が倒壊し、死者数十人、負傷者数名発生。
1683. 6. 17 (天和 3. 5. 23) 辰中刻	日光	M6.0～6.5。4月5日より地震多く、特に17日は37回の地震あり。辰の刻に大地震発生。また卯刻から子刻まで地震89回。東照宮・大猷廟・慈眼堂等の石の宝塔の九輪転落、石垣多く崩れ、天狗堂・仏岩・赤薙山およびその北方の山崩れる。
1683. 6. 18 (天和 3. 5. 24) 巳ノ下刻	日光	M6.5～7.0。卯刻から辰刻まで地震7回。巳の下刻に大地震発生。御宮・御堂・御殿・慈眼堂・本坊寺院の石垣が残らず崩れ、石灯籠は全て倒れる。東照宮・大猷廟の宝塔の笠石その他破損。卯上刻から夜中まで地震196回。25日41回、26日17回、17日から閏5月1日まで地震435回。
1683. 10. 20 (天和 3. 9. 1) 寅ノ後刻	日光	M7.0。下野三依川五十里村で山崩れが起こり、川を塞いだため湖が生じた。日光にも山崩れがあり、鬼怒川・稲荷川の水が流れなくなった。1～2日で地震760回余、また1日から晦日まで地震1,400回余。
1923. 9. 1 (大正 12) 11 時 58 分	関東 南部	(関東大地震) M7.9。相模湾、神奈川県全域、房総半島の南部を含む相模トラフ沿いの広い範囲を震源域として発生したプレート間地震 ○全国 (関東甲信静) ・最大震度6 (当時の震度階級は6までしかなかったが、一部の地域では現在の震度7相当と推定) ・人的被害—死者99,331人、負傷者103,733人、行方不明43,476人 ・家屋被害—全壊128,266棟、半壊126,233棟、焼失447,128棟、流失868棟 ○県内 ・最大震度5 ・人的被害—負傷者3人 ・家屋被害—全壊16棟、半壊2棟
1949. 12. 26 (昭和 24) ①8 時 17 分 ②8 時 24 分	今市 地方	(今市地震) ほぼ同程度の規模 (①M6.2 ②M6.4) の地震が8分の間隔をおいて続けて発生。震央地は両方とも鶴鳴山付近。地震の数日あるいは数ヶ月前から地鳴りがあったという。余震は多く12月26日から1月25日にかけて、有感79・無感1,534の余震を観測(宇都宮測候所のウ式地震計による)。 ○県内 ・最大震度6(今市付近) ・人的被害 — 死者10名、負傷者163名 ・住家被害 — 全壊290棟、半壊2,994棟、一部破損1,660棟 ・非住家被害 — 全壊618棟、半壊2,307棟、一部破損2,979棟
1996. 12. 21 (平成 8) 10 時 39 分	県内 12 市町	M5.5。震央地は茨城県南部(北緯36.1°、東経139.8°)深さ約40km。東北地方から北陸及び中部地方にかけて地震を感じた。 ○県内 ・最大震度5弱(日光、今市、益子) ・人的被害 — 軽傷者1名(鹿沼) ・住家被害 — 一部破損47棟(宇都宮、足利、栃木、小山、南河内、益子、藤岡) ・被害額 <u>927千円</u> { 公共文教施設 859千円 { その他の公共施設 35千円

年月日	震災地	被害の概要											
2000. 7. 21 (平成 12) 3 時 39 分	被災無	M 6. 1。震央地は茨城県沖（北緯 36. 6°、東経 141. 0°）深さ約 50km ○県内 ・最大震度 5 弱（市貝） ・被害無											
2008. 5. 8 (平成 20) 1 時 45 分	被災無	M 6. 7。震央地は茨城県南部（北緯 36. 2°、東経 141. 7°）深さ約 40km ○県内 ・最大震度 5 弱（茂木） ・被害無											
2011. 3. 11 (平成 23) 14 時 46 分	県内 全市町	(東北地方太平洋沖地震) M9. 0。震央地は三陸沖（北緯 38. 1°、東経 142. 9°）深さ 24km 宮城県栗原市で震度 7、宮城県、福島県、茨城県、栃木県の 4 県 37 市町村で震度 6 強、岩手県で震度 6 弱を観測したほか、東日本を中心に沖縄県を除く全国で震度 6 弱～震度 1 の揺れを観測した。また、この地震に伴い、観測史上最大規模の大津波が発生したほか、全国の広い範囲で津波が観測された。余震も数多く発生している。 ○全国 ・最大震度 7（宮城県栗原市） ・人的被害 — 死者 18, 958 人、負傷者 6, 219 人、行方不明 2, 655 人 ・住家被害 — 全壊 127, 291 棟、半壊 272, 810 棟、一部破損 766, 097 棟 ○県内 ・最大震度 6 強（宇都宮、真岡、大田原、高根沢、市貝） ・人的被害 — 死者 4 人、負傷者 133 人 ・住家被害 — 全壊 261 棟、半壊 2, 118 棟、一部破損 73, 326 棟 ・被害額 <u>20, 880, 239 千円</u> <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td rowspan="5" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">{</td> <td>公立文教施設</td> <td>2, 607, 951 千円</td> </tr> <tr> <td>農林水産業施設</td> <td>3, 895, 631 千円</td> </tr> <tr> <td>公共土木施設</td> <td>2, 354, 784 千円</td> </tr> <tr> <td>その他の公共施設</td> <td>4, 219, 384 千円</td> </tr> <tr> <td>その他の被害</td> <td>7, 802, 489 千円</td> </tr> </table>	{	公立文教施設	2, 607, 951 千円	農林水産業施設	3, 895, 631 千円	公共土木施設	2, 354, 784 千円	その他の公共施設	4, 219, 384 千円	その他の被害	7, 802, 489 千円
{	公立文教施設	2, 607, 951 千円											
	農林水産業施設	3, 895, 631 千円											
	公共土木施設	2, 354, 784 千円											
	その他の公共施設	4, 219, 384 千円											
	その他の被害	7, 802, 489 千円											
2013. 2. 25 (平成 25) 16 時 23 分	日光市	M6. 2。震央地は栃木県北部（北緯 36. 9°、東経 139. 4°）深さ 10km 関東地方を中心に、東北地方から中部地方にかけて震度 4～1 を観測した。 ○県内 ・最大震度 5 強（日光） ・人的被害 — なし ・住家被害 — 一部破損 11 棟（日光） ・被害額 <u>283, 742 千円</u> <table style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td rowspan="3" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">{</td> <td>農林水産業施設</td> <td>230, 242 千円</td> </tr> <tr> <td>その他の公共施設</td> <td>53, 000 千円</td> </tr> <tr> <td>その他の被害</td> <td>500 千円</td> </tr> </table>	{	農林水産業施設	230, 242 千円	その他の公共施設	53, 000 千円	その他の被害	500 千円				
{	農林水産業施設	230, 242 千円											
	その他の公共施設	53, 000 千円											
	その他の被害	500 千円											
2014. 9. 3 (平成 26) 16 時 24 分	日光市	M5. 1。震央地は栃木県北部（北緯 36. 9°、東経 139. 5°）深さ 7km ○県内 ・最大震度 5 弱（日光） ・人的被害 — なし ・住家被害 — なし ・非住家被害 2 棟（日光）											
2014. 9. 16 (平成 26) 12 時 28 分	足利市 小山市	M5. 6。震央地は茨城県南部（北緯 36. 1°、東経 139. 9°）深さ 47km ○県内 ・最大震度 5 弱（佐野市・下野市） ・人的被害 — なし ・住家被害 — 一部破損 2 棟（足利・小山）											

年月日	震災地	被害の概要
2016. 11. 22 (平成 28) 5 時 59 分	被災無	M7. 4。震央地は福島県沖（北緯 37. 2°、東経 141. 3°）深さ 25 km ○県内 ・最大震度 5 弱（大田原市） ・被害無
2021. 2. 13 (令和 3) 23 時 07 分	県内 9 市町	M7. 3。震央地は福島県沖（北緯 37. 7°、東経 141. 7°）深さ 55 km ○県内 ・最大震度 5 強（高根沢町・那須町） ・人的被害 — 軽症者 5 名（宇都宮市・栃木市・那須烏山市・那須町） 中等症者 3 名（栃木市・那須烏山市） ・住家被害 — なし ・非住家被害 — 9 棟
2022. 3. 16 (令和 4) 23 時 36 分	宇都宮市 芳賀町	M7. 4。震央地は福島県沖（北緯 37. 4°、東経 141. 3°）深さ 57km ○県内 ・最大震度 5 弱（那須町、市貝町、高根沢町、那珂川町） ・人的被害 — 軽症者 1 名（宇都宮市）、中等症者 1 名（宇都宮市） ・住家被害 — なし ・非住家被害 — なし

(資料／日本被害地震総覧<東京大学出版会>、気象庁より一部引用)

災害環境-5 足利市の災害記録

1 火災

足利市の主な火災記録は次のとおりである。なお、大正以前は個人の日誌等による。

年 月 日	火 災 の 概 要	備 考
文政11年1月8日	本坂町常念寺境内清六方より出火、332戸焼失。	
天保2年1月22日	井草町安養院より出火、井草町、仲町、下町、横町、折戸方面焼失。	
文久3年1月14日	中町鍛冶屋吉右衛門方より出火、256戸焼失。	
明治3年1月28日	本城雷電神社の別棟寿楽院より出火、本城地内40戸焼失したほか、助戸方面に飛火。	
明治12年12月9日	通二丁目より出火、350戸焼失。なおこの年11月に織姫神社焼失。	
明治17年2月18日	横町より出火、約100戸焼失。	
明治25年2月28日	家富町辻豊平方より出火、井草町、大門通、通二丁目、通一丁目、昌平町にわたり286戸焼失。	
大正14年3月14日	永楽町で47戸焼失。	
昭和18年1月1日	通一丁目服部三郎方より出火、6人焼死。	
昭和22年3月21日	大町三国木工、1,000㎡焼失。	
昭和26年12月17日	勸農町東興製紙工場より出火、2,330㎡焼失。	
昭和28年1月28日	南町喜久住旅館1,220㎡焼失。	
昭和30年4月27日	西宮町第一中学校校舎1,000㎡焼失。	
昭和30年4月29日	山辺小学校校舎350㎡焼失。	
昭和31年3月7日	通三丁目足利郵便局950㎡焼失。	
昭和34年4月11日	里矢場町拓野方より出火、24戸(66棟)3,400㎡焼失。	
昭和40年2月27日	借宿町三丁目飲食店火災により4名焼死。	
昭和40年3月27日	田中町三丁目即席ラーメン工場より出火、強風による飛火のため8棟を全半焼し、1,193㎡焼失。	
昭和40年7月2日	助戸仲町、堀田産業(株)本社工場より出火、11棟2,548㎡焼失。	
昭和41年2月13日	通五丁目丸山油店住宅より出火、2名焼死150㎡焼失。	
昭和42年1月23日	助戸一丁目竜泉寺より出火、3棟506㎡焼失。	
昭和42年4月22日	強風下の連続火災 1. 大橋町佐藤製材より出火、5棟430㎡焼失。 2. 本城二丁目山口スーパーマーケットより出火、8棟を全半壊、448㎡焼失。	
昭和44年3月8日	高松町、(株)牛久保製作所より出火、乾燥工場等2棟1,085.7㎡を焼失。及び飛火により民家1棟を半焼。	
昭和44年6月2日	借宿町、興国化学工場(株)引布第一工場より出火、5,372.6㎡を焼失。損害約2億4千万円	
昭和45年1月15日	新宿町、(株)紅三足利工場より出火、バルキーワインダー工場1棟、1,391.9㎡を焼失。	
昭和45年4月11日	伊勢町、綿梅商店製綿工場より出火、4棟、640.1㎡を焼失。及び延焼により付近民家6棟、32.0㎡を全半焼。	
昭和45年11月24日	助戸一丁目、トーネン(株)足利工場原糸倉庫より出火、延655㎡を焼失。損害約1億2千3百万円	
昭和46年3月11日	名草中町、市立名草中学校図書室資料室より出火11棟延1,883㎡を焼失。及び飛火により付近の民家7棟を全半焼、8棟を部分焼。(総焼失面積 2,315㎡)	
昭和46年10月30日	小俣町、市立小俣小学校第2校舎2階より出火、同校舎1棟延676㎡全焼。	
昭和48年2月3日	伊勢町二丁目、玩具店「チロル」2階より出火。延170㎡を焼失。死者2名、負傷者1名	

年 月 日	火 災 の 概 要	備 考
昭和48年3月25日	掘込町、(有)興南製作所工場より出火、4棟延633㎡を焼失。	
昭和48年6月16日	伊勢町、東両毛通運株第8号倉庫より出火、延356㎡を焼失。損害約1億円	
昭和48年12月22日	名草中町、雛育すう作業所より出火、5棟全半焼、2棟部分焼、延163㎡を焼失。及び飛火により山林10.8haを焼失。	
昭和49年4月19日	旭町、作業場併用住宅(生地裁断場)より出火、延83㎡を焼失。死者2名、重傷1名、軽傷1名	重傷者は3日後に死亡。
昭和49年5月12日	伊勢町、区画整理中の民家に囲まれた物置付近より出火。5棟全半焼、2棟部分焼、延325㎡焼失。	
昭和50年2月19日	緑町二丁目、店舗併用共同住宅(長屋4世帯居住)より出火、延288㎡を全焼。死者1名、重傷1名	
昭和50年3月9日	板倉三丁目、(有)吉田織物より出火、工場及び母屋等4棟延370㎡を全焼。重傷1名	
昭和51年3月29日	福居町、福居家具センターより出火、店舗併用住宅等2棟延422㎡を全焼。	
昭和51年12月26日	大町、(有)みどり産業工場内より出火、工場及び隣接住宅等3棟延416㎡を全焼。	
昭和54年9月4日	通二丁目、(有)足利デパート旧館中3階より出火、延220㎡を全焼。	
昭和55年11月3日	山川町、南栃木三洋株電気製品倉庫より出火、727㎡を全焼。損害額約1億6千万	
昭和56年7月17日	寿町、北詰セキ所有の倉庫等全焼6棟、半焼1棟、部分焼1棟、延837㎡焼失。	
昭和57年3月26日	田島町、ゴルフ場造成地より出火、付近の山林約10.2haを焼失。	たばこの投げ捨て
昭和59年5月5日	小俣町、通称岩切野山より出火、付近の山林約10.3haを焼失。	たばこの投げ捨て
昭和60年1月24日	栄町一丁目、元玉の湯物置より出火、付近住宅等計10棟を全・半・部分焼、延581㎡を焼失。	
昭和61年4月12日	名草上町、弁天様北山林より出火、付近の山林15.02haを焼失。	
昭和61年4月17日	県町、アガタ軽金属株の工場検査仕上場より出火、1,722㎡焼失。	
昭和62年8月4日	助戸三丁目と伊勢町二丁目地内に連続火災発生、住宅等18棟を全・半・部分焼、延892㎡を焼失。	
昭和63年6月5日	今福町、金井染工(株)工場資材置場より出火、鉄筋スレート一部2階建工場1,174㎡焼失。損害額1億1千万	
平成2年3月15日	葉鹿町、三善産業株足利第4工場製品置場より出火、工場2棟8,424㎡焼失。損害額6億1千135万円	
平成3年2月28日	鹿島町、サンコウ加工(有)の工場併用住宅から出火、計5棟1,058㎡を全・半・部分焼。	
平成6年10月16日	家富町、住宅から出火、1棟延123㎡を全焼。死者2名	
平成8年8月16日	山下町、(有)シンコーから出火、4棟延1,329㎡を全焼。	
平成9年7月27日	大町、栗原メリヤス作業場宅から出火、全焼4棟、部分焼1棟、計5棟延1,136㎡を焼失。	
平成10年10月5日	鹿島町、山下町地内で連続2件の火災発生、延415㎡を焼失。	
平成11年10月4日	稲岡町、大久保町地内で連続火災発生、計4棟全焼、延339㎡焼失。	
平成12年7月25日	通五丁目、空家1棟延169㎡焼失。6月から8月にかけて、市内で空家、物置等の不審火が発生した。	
平成13年7月30日	大正町、共同住宅より出火、全焼1棟、部分焼2棟延124㎡焼失。	
平成14年6月14日	大前町、田村化成(有)より出火、3棟全焼、延1,097㎡焼失。	
平成15年4月24日	田島町、(社)こころみ学園作業場より出火、全焼1棟、延169㎡焼失。同学園内で連続3件の放火火災が発生。	
平成16年3月9日	松田町、松田川ダム北西付近より出火、山林約9.45haを焼失。	
平成17年12月30日	今福町、三重修整擦糸(株)工場火災	
平成18年	3月・4月連続放火	

年 月 日	火 災 の 概 要	備 考
平成19年3月18日	西宮町、高德寺火災	
平成20年	西部地区放火多発	
平成21年3月26日	月谷町、堀江精工工場火災	
平成22年1月7日	真砂町、フライトワン工場火災	
平成23年4月14日	鹿島町、初谷燃糸工場火災	
平成24年12月9日	緑町1丁目、八雲神社火災	
平成25年3月11日	小俣町、白葉峠山林火災	桐生市から延焼
平成26年4月16日	桐生市菱町2丁目黒川ダム付近で15日に発生した林野火災が小俣町に延焼。山林約7.2haを焼失。40世帯90名に避難勧告。5月2日鎮火。	
平成27年2月2日	巴町、ロータリービル建物火災（店舗併用共同住宅）共同住宅部分から出火 死者1名	
平成28年1月5日	山川町、住宅火災。全焼2棟、部分焼2棟、死者1名	
平成29年12月15日	借宿町、(株)吉田工場火災	
平成30年2月21日	山下町、足利麵 足利・鹿島建物火災	
平成31年3月24日	名草上町、臥竜院南東林野火災。3月24日に出火し、27日に鎮火。山林9.5ha 焼失、建物全焼3棟、部分焼1棟焼失。	
令和3年2月21日	2月21日に西宮町両崖山南西200m付近にて出火し、3月15日に鎮火。山林167ha 焼失、305世帯に対し避難勧告。災害救助法が適用された。	

2 水害

足利市の明治以降の水害記録は以下のとおりである。

年 月 日	原因	被 害 概 要	備 考
明治4年	洪水	渡良瀬川南裏堤防116m崩壊。	
明治21年7月25日	洪水	渡良瀬川の氾濫により鉄道不通。	
明治22年	洪水	渡良瀬川堤防借宿地区において180m決壊。	
明治27年8月11日	洪水	渡良瀬川堤防127m決壊。	
明治29年9月6日	洪水	渡良瀬川堤防96箇所決壊。死者13人、行方不明2人、負傷者50人、全壊家屋83戸、流失家屋120戸、半壊家屋260戸、橋梁流失308箇所	
昭和13年8月31日	洪水	渡良瀬川、袋川の堤防決壊及び溢水10箇所、全壊家屋20戸、流失家屋15戸、浸水家屋6,392戸	
昭和18年10月3日	洪水	袋川氾濫、浸水家屋1,500戸	
昭和22年9月15日	台風	渡良瀬川岩井地区等の堤防決壊、死者252人、行方不明67人、倒壊家屋328戸、流失家屋372戸、床上浸水11,976戸、床下浸水5,773戸	キャサリン台風
昭和23年9月16日	台風	渡良瀬川、袋川の堤防決壊により全半壊家屋2戸、床上浸水884戸、床下浸水1,310戸、田畑の流失、埋没、冠水6,855ha	
昭和24年8月31日	台風	キティ台風により家屋の半壊12戸、屋根の破損40戸、床上浸水203戸、床下浸水214戸	
昭和41年6月28日	台風	台風第4号により、今福町、西宮町、浅間山、大橋町等における崖崩れ4箇所、土砂崩れ8箇所、河川越水崩壊等による床上浸水98戸、床下浸水1,478戸、建物倒壊1戸	
昭和41年9月24日	台風	台風第26号により大月町、助戸大橋町等において崖崩れ6箇所、負傷者9人、河川の越水、崩壊及び強風による建物全壊22戸、半壊41戸、流失8戸、床上浸水76戸、床下浸水1,663戸	
昭和47年9月17日	豪雨 台風	豪雨及び台風第20号により市内中小河川が各地で増水越水27箇所、延926mに水防工法を実施。崖崩れ4箇所、橋梁流失3箇所、床下浸水62戸	

年 月 日	原因	被 害 概 要	備 考
昭和49年9月1日	台風	台風第16号の余波により、市内中小河川が増水、床上浸水4戸（五十部町）床下浸水138戸及び田島川等2箇所水防工法を実施。土砂崩れ2箇所、田畑の冠水、浸水、埋没3.4ha	
昭和51年5月26日	集中豪雨	雷を伴う集中豪雨により小河川等が増水し、市内東部、南部地区を中心に床上浸水12戸床下浸水151戸崖崩れ22箇所（時間最大雨量97ミリ、総雨量184.5ミリ）	
昭和52年8月 15日～19日	長雨	熱帯低気圧の停滞による連続降雨により市内の中小河川が増水、6河川18地域26箇所水防工法実施。崖崩れによる工場半壊1棟、橋梁流失3箇所（総雨量98.5ミリ）	
昭和57年9月 10日～12日	台風	関東地方を横断した台風第18号により、市内11河川の越水、堤防崩壊等を生じ、43箇所に水防工法を実施。市内全域で床上浸水28戸、床下浸水314戸、崖崩れ38箇所の被害を生じた。（総雨量221.0ミリ）	
昭和61年8月 4日～5日	台風	台風10号から変わった温帯低気圧により市内に大雨、床上浸水12戸、床下浸水134戸（総雨量156.5ミリ）	県に災害対策本部が設置される
昭和62年9月 10日～11日	集中豪雨	集中豪雨により市内に床上浸水1戸、床下浸水13戸の被害。北郷地区の河川の溢水、堤防洗掘（総雨量103ミリ）	
平成元年7月 15日～17日	集中豪雨	梅雨前線の停滞による集中豪雨により、河南地区（福居町）で用水が溢水、床下浸水22戸、崖崩れ3箇所及び崖崩れによる住宅破損1棟（総雨量124.5ミリ）	
平成2年8月8日	集中豪雨	雷雲の停滞による集中豪雨により、河南地区を中心に床上浸水5戸、床下浸水94戸、道路の冠水19箇所、崖崩れ1箇所。橋の流失1（総雨量106ミリ）	
平成2年8月10日	台風	台風11号による大雨で名草川が溢水、床上浸水12戸、床下浸水84戸、崖崩れ7箇所、堤防の破損7箇所、橋の流失3（総雨量168ミリ）	
平成2年9月13日	集中豪雨	秋雨前線の停滞による集中豪雨により、河南地区（福居町）を中心に床上浸水15戸、床下浸水153戸、道路の冠水27箇所（総雨量133ミリ）	
平成2年9月 19日～20日	台風	台風19号による大雨で河南地区を中心に床下浸水11戸、道路の冠水3箇所、崖崩れ1箇所（総雨量90.5ミリ）	
平成3年8月 12日～13日	集中豪雨	集中豪雨により河南地区を中心に床下浸水15戸、用水の溢水1箇所、道路の冠水5箇所（総雨量90.5ミリ）	
平成3年8月 20日～21日	台風	台風12号の大雨により市内全域で床上浸水16戸、床下浸水114戸、堤防洗掘13箇所、溢水2箇所、橋梁流失3箇所、崖崩れ6箇所、道路の冠水21箇所、道路の陥没2箇所（総雨量164.5ミリ）	
平成3年10月 10日～13日	台風 長雨	台風21号及び秋雨前線によりもたらされた大雨により、市内全域で床下浸水28戸、堤防破損2箇所、河川の溢水2箇所、崖崩れ4箇所、道路の冠水3箇所、道路の陥没1箇所（総雨量186.5ミリ）	
平成10年8月27日～ 9月1日	台風 長雨	停滞前線及び台風4号により、市内全域で床上浸水6戸、床下浸水92戸、河川被害34箇所、崖崩れ24箇所、道路被害33箇所（総雨量332.5ミリ）	
平成12年7月2日～ 7月8日	豪雨 台風	集中豪雨及び台風3号により、市内山間部で床下浸水14棟、土砂崩れ8箇所、林道被害5箇所（総雨量113.0ミリ）	

年 月 日	原因	被 害 概 要	備 考
平成13年8月21日～ 8月22日	台風	台風11号により、道路被害5箇所、河川被害4箇所、公園被害5箇所、車両3台水没、冠水被害2箇所 (総雨量113.0ミリ)	
平成13年9月10日～ 9月11日	台風	台風15号により、市内全域で床下浸水17棟、道路被害12箇所、公園被害7箇所、冠水被害2箇所 (総雨量114.5ミリ)	
平成14年7月10日～ 7月11日	台風	台風6号により、市内全域で床上浸水12棟、床下浸水10棟、公園被害9箇所、道路冠水6箇所、田畑被害3 a (総雨量189.0ミリ)	
平成20年8月28日～ 8月30日	豪雨	低気圧による豪雨により、市内全域で床上浸水10棟、床下浸水48棟、道路被害9箇所、崖崩れ8箇所、停電被害最大3,711戸 (総雨量145.0ミリ)	
平成23年7月19日～ 7月20日	台風	台風6号により、市内全域で床上浸水6棟、床下浸水2棟、道路冠水34箇所、崖崩れ4箇所、用水被害10箇所 (総雨量217.0ミリ)	
平成24年6月19日～ 6月20日	台風	台風4号により、市内全域で非住家被害8件、倒木13件。道路被害1件 (総雨量62.0ミリ)	
平成25年7月27日	豪雨	集中豪雨により、市内全域で床上浸水2棟、床下浸水9棟、非住家被害4件、車両1台水没、道路冠水14箇所、用水被害1箇所 (総雨量68.0ミリ)	
平成25年10月15日～ 10月16日	台風	台風26号により、市内全域で床下浸水2棟、非住家被害1件、道路冠水12箇所、車両水没1件、路肩崩壊1箇所、路肩浸食1箇所、倒木1件 (総雨量166.5ミリ)	
平成26年6月8日～ 6月9日	豪雨	集中豪雨により、市内全域で床上浸水6棟、床下浸水27棟、非住家被害10件、道路冠水28箇所、土砂災害15箇所、用水被害5箇所、車両7台水没 介護施設の入所者・職員17名と山川町の2世帯4名が毛野公民館へ自主避難 (総雨量245.0ミリ)	
平成26年10月5日～ 10月6日	台風	台風18号による強風により、中等症1名、倒木3件 (総雨量131.5ミリ)	
平成26年10月13日～ 10月14日	台風	台風19号による強風により、軽傷2名 (総雨量54.5ミリ)	
平成29年10月22日～ 10月23日	台風	台風21号による大雨により、床下浸水4件、地すべりによる非住家被害1件、道路冠水8件 (総雨量212.0ミリ)	
令和元年10月12日～ 10月13日	台風	死者1名、中等症2名、大規模半壊62件、半壊371件、準半壊8件、一部損壊404件、道路被害271件、非住家被害45件、崖崩れ51件、河川被害69件、橋梁被害12件、排水・用水等溢水116件、倒木11件、その他121件。市内全域に避難勧告を発令。激甚災害に指定され、災害救助法の適用を受けた (24時間降水量253.0ミリ)	令和元年東日本台風

3 その他の災害

年 月 日	原因	被 害 概 要	備 考
昭和29年7月31日	火薬爆発	西新井町、須永花火工場で火薬爆発。重傷1人	
昭和36年12月21日	爆発	緑町、日本理研ゴム工場の加硫缶爆発。重傷2人、軽傷38人、工場大破。	
昭和42年12月28日	車両衝突	山川町、国鉄両毛線踏切において気動車(ジーゼルカー)と大型トラックが衝突。重傷4人、軽傷39人	

年 月 日	原因	被 害 概 要	備 考
昭和43年2月6日	毒物 流出	南大町、タツミ製作所の火災によりメッキ槽より青化ソーダ溶液約900ℓ（青化ソーダ90kg含有）が流出。矢場川流域は10日間にわたり禁水地域に指定された。	
昭和43年8月20日	火薬 爆発	西新井町、須永花火(株)庫外貯蔵庫が爆発。死者1人、負傷者3人及び仕上工室等8棟334.5㎡を全半壊（焼）	
昭和46年12月6日	火薬 爆発	名草上町、須永花火(株)、火薬乾燥中の日乾場で爆発。死者1人、負傷者3人及び配合所棟3棟破損	
昭和47年8月3日	突風	南大町付近、雷雨を伴う突風（旋風）で民家の全壊1戸、半壊7戸、部分壊24戸の被害を受ける。（負傷者なし）	
昭和52年2月18日	車両 衝突	川崎町、国鉄両毛線踏切において電車と普通トラックが衝突、電車4両脱線トラック大破。重傷2人、軽傷15人	
昭和53年7月11日	突風	河南地区で、熱帯低気圧の通過に伴う突風（旋風）で住家19棟、非住家17棟の計36棟が屋根瓦の飛散、大破等の被害を受ける。（負傷者1人）	
昭和56年1月31日	爆発	借宿町、第2浅間台ハウス（RC7F）の2階206号室で爆発、周囲の民家等36棟に被害。重傷1人、中等傷3人、軽傷3人	家庭用LPGの漏洩
平成23年6月21日	突風	筑波地区で、ダウンバーストに伴う突風で住家16棟と非住家29棟が一部損壊。その他、停電被害及びビニールハウスの倒壊・破損等があった。	
平成26年2月8日～ 2月9日	雪害	大雪による転倒等により中等症3名、軽傷1名、農作業施設被害31棟 （最高積雪高36cm）	
平成26年2月14～ 2月15日	雪害	大雪による転倒等により、中等症1名、軽傷3名、住家被害5棟、非住家被害3棟、文教施設被害4棟、農作業施設被害99棟 （最高積雪高30cm）	

災害環境-6 震災の想定

(1) 予測被害量

項目		①直下地震 足利市直下震 (M6.9)	②近隣地震 関東平野北西縁 断層帯 (M8.0)	③遠方地震 東京湾北部地震 (M7.3)
最大震度		6強	6強	5強
建物被害	全 壊	8,980 棟	3,698 棟	87 棟
		10.43%	4.29%	0.1%
	半 壊	16,250 棟	11,984 棟	280 棟
		18.87%	13.91%	0.33%
上水道	断水	106,386 人	89,852 人	0 人
		70.51%	59.55%	0.00%
人的被害	死 者	578 人	224 人	0 人
		0.38%	0.15%	0.00%
	負傷者	4,746 人	2,917 人	13 人
		3.15%	1.93%	0.01%
避難者数 (当日・1 日後)	避難所	18,075 人	8,794 人	148 人
		11.98%	5.83%	0.10%
	避難所外	12,050 人	5,862 人	99 人
		7.99%	3.89%	0.07%
避難者合計		30,125 人	14,656 人	247 人
		19.97%	9.71%	0.16%

(注) ①～③は、平成25年度に栃木県が実施した地震被害想定調査による

- 建物被害・人的被害は冬：深夜風速10m/s、上水道は冬：18時風速10m/s を想定。
- 建物棟数と人口の割合は平成26年1月1日現在のもの で算出。
- 建物棟数：86,132棟 人口：150,874人

(2) 想定地震・発生日時別に予想される事態の特徴

地震	日時	特徴
直下地震	夜間	<ul style="list-style-type: none"> ・足利市を中心に激甚な被害となる。 市外の被害は比較的軽微で、県や自衛隊は足利市周辺地域を中心とした応援を行う。 ・市全域で建物の倒壊や火災が多数発生し、密集市街地の一部では火災が延焼。 消防、救助の要請が殺到し、消防本部、警察の対応が混乱する。 ・倒壊した建物、がけ崩れ、家具の転倒・落下等により、多数の住民が被災する。 市や防災関係機関の職員も被災し、さらに夜間で視界が悪く、役所への参集が遅れる。 ・ライフライン施設が激甚な被害となり、復旧には電気が3日以上、電話が1週間以上、水道が1ヶ月以上、都市ガスが1ヶ月半以上を要する。 建物の被災、ライフラインの停止により、市内全域で多数の市民が避難する。 ・市内の河川堤防、道路、鉄道等が多数被災する。 橋梁や盛土の点検・仮復旧、緊急交通路や迂回路の指定、バスの代替輸送が行われる。 堤防の応急復旧を行うが、大雨・洪水に備えて避難基準を下げて対応する。 ・市北部の山間部では、土砂災害により一部の集落が孤立。 翌朝からヘリコプターによる孤立集落が確認され、高齢者等を優先して救助・救援が開始される。
休日 の 昼		<ul style="list-style-type: none"> ・足利市を中心に激甚な被害となる。 市外の被害は比較的軽微で、県や自衛隊は足利市周辺地域を中心とした応援を行う。 ・市全域で建物の倒壊や火災が多数発生し、密集市街地の一部では火災が延焼。 消防、救助の要請が殺到し、消防本部、警察の対応が混乱する。 ・倒壊した建物、がけ崩れ、家具の転倒・落下等により、多数の住民が被災する。 市や防災関係機関の職員も被災する。 ・ライフライン施設が激甚な被害となり、復旧には電気が3日以上、電話が1週間以上、水道が1ヶ月以上、都市ガスが1ヶ月半以上 建物の被災、ライフラインの停止により、市内全域で多数の市民が避難する。 ・市内の河川堤防、道路、鉄道等が多数被災する。 橋梁や盛土の点検・仮復旧、緊急交通路や迂回路の指定、バスの代替輸送が行われる。 堤防の応急復旧を行うが、大雨・洪水に備えて避難基準を下げて対応する。 ・市北部の山間部では、土砂災害により一部の集落が孤立。 ・鉄道や橋梁等が被災し、車両が被災する。 運行中の鉄道車両、橋梁を通行中の車両が被災し、鉄道旅客や乗員の救助が必要となる。 ・観光客等がおおきなゆれで混乱する。 足利学校、足利駅及び周辺の旅客は、付近の安全な場所へ自ら又は駅員等に誘導されて移動する。JR、東武とも運行再開の目処がたたず、駅前には東京方面等からの鉄道旅客がしばらく滞留する。 ・北関東自動車道等が被災し、通行禁止となる。 フラワーパークやゴルフ等の観光・行楽客のマイカー車両が国道50号等に集中し、緊急車両の通行障害となる。

地震	日時	特徴
	平日の昼	<ul style="list-style-type: none"> ・足利市を中心に激甚な被害となる。 市外の被害は比較的軽微で、県や自衛隊は足利市周辺地域を中心とした応援を行う。 ・市全域で建物の倒壊や火災が多数発生し、密集市街地の一部では火災が延焼。 消防、救助の要請が殺到し、消防本部、警察の対応が混乱する。 ・倒壊した建物、がけ崩れ、家具の転倒・落下等により、多数の住民が被災する。 ・職員は非常配備につき、被害状況調査等の初動対応を開始するが、職員も多数被災する。 ・ライフライン施設が激甚な被害となり、復旧には電気が3日以上、電話が1週間以上、水道が1ヶ月以上、都市ガスが1ヶ月半以上を要する。 建物の被災、ライフラインの停止により、市内全域で多数の市民が避難する。 ・市内の河川堤防、道路、鉄道等が多数被災する。 橋梁や盛土の点検・仮復旧、緊急交通路や迂回路の指定、バスの代替輸送が行われる。 堤防の応急復旧を行うが、大雨・洪水に備えて避難基準を下げ対応する。 ・市北部の山間部では、土砂災害により一部の集落が孤立。 ・鉄道や橋梁等が被災し、車両が被災する。 運行中の鉄道車両、橋梁を通行中の車両が被災し、鉄道旅客や乗員の救助が必要となる。 ・JR、東武とも運行再開の目処がたたず、駅前には市外からの通勤・通学者者がしばらく滞留する。 市外への通勤・通学者が帰宅できず、徒歩等で市内に戻ってくる。 また、保育所では市外勤務の保護者と連絡がとれず、翌朝まで園児等を保護する。
近隣地震	夜間	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬県から埼玉県にかけて広域に激甚な被害となる。 両毛地域の自治体等から足利市への応援や被災者の受け入れ等が求められるが、市内も甚大な被害のため対応できない。 ・市南部を中心に、建物の全壊・半壊が多数発生する。 建物の倒壊、家具等の転倒・落下等により、多数の住民が被災する。 ・市や防災関係機関の職員も被災し、さらに夜間で視界が悪く、役所への参集が遅れる。 ・ライフライン施設が被災し、復旧には電気が1日以上、電話が3日以上、水道が2週間以上、都市ガスが1ヶ月以上を要する。 建物の被災、ライフラインの停止により、市南部を中心に多数の市民が避難する。 ・鉄道や橋梁等が被災し、車両が被災する。 ・北関東自動車道等が被災し、通行禁止となる。 ・市北部の山間部では、土砂災害により一部の集落が孤立。 翌朝からヘリコプターによる孤立集落が確認され、高齢者等を優先して救助・救援が開始される。
	休日の昼	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬県から埼玉県にかけて広域に激甚な被害となる。 両毛地域の自治体等から足利市への応援や被災者の受け入れ等が求められるが、市内も甚大な被害のため対応できない。 ・市南部を中心に、建物の全壊・半壊が多数発生する。 建物の倒壊、家具等の転倒・落下等により、多数の住民が被災する。 休日でも外出中の市や防災関係機関の職員の参集が遅れる。 ・ライフライン施設が被災し、復旧には電気が1日以上、電話が3日以上、水道が2週間以上、都市ガスが1ヶ月以上を要する。 建物の被災、ライフラインの停止により、市南部を中心に多数の市民が避難する。 ・鉄道や橋梁等が被災し、車両が被災する。 運行中の鉄道車両、橋梁を通行中の車両が被災し、鉄道旅客や乗員の救助が必要となる。 ・観光客等がおおきなゆれで混乱する。 足利学校、足利駅及び周辺の旅客は、付近の安全な場所へ自ら又は駅員等に誘導されて移動する。JR、東武とも運行再開の目処がたたず、駅前には東京方面等からの鉄道旅客がしばらく滞留する。 ・北関東自動車道等が被災し、通行禁止となる。 フラワーパークやゴルフ等の観光・行楽客のマイカー車両が国道50号等に集中し、緊急車両の通行障害となる。

地震	日時	特徴
	平日の昼	<ul style="list-style-type: none"> 群馬県から埼玉県にかけて広域に激甚な被害となる。 両毛地域の自治体等から足利市への応援や被災者の受け入れ等が求められるが、市内も甚大な被害のため対応できない。 市南部を中心に、建物の全壊・半壊が多数発生する。 建物の倒壊、家具等の転倒・落下等により、多数の住民が被災する。 市や防災関係機関の職員は非常配備につき、被害状況調査等の初動対応を開始する。 ライフライン施設が被災し、復旧には電気が1日以上、電話が3日以上、水道が2週間以上、都市ガスが1ヶ月以上を要する。 建物の被災、ライフラインの停止により、市南部を中心に多数の市民が避難する。 北関東自動車道等が被災し、通行禁止となる。 鉄道や橋梁等が被災し、車両が被災する。 運行中の鉄道車両、橋梁を通行中の車両が被災し、鉄道旅客や乗員の救助が必要となる。 J R、東武とも運行再開の目処がたたず、駅前には市外からの通勤・通学者者がしばらく滞留する。 市外への通勤・通学者が帰宅できず、徒歩等で市内に戻ってくる。 また、保育所では市外勤務の保護者と連絡がとれず、翌朝まで園児等を保護する。
	遠方地震 夜間	<ul style="list-style-type: none"> 都心、千葉県西部、神奈川東部、埼玉県南部等、広域に激甚な被害となる。 市南部を中心に、建物の全壊・半壊が多数発生する。 建物の倒壊、家具等の転倒・落下等により、一部の住民が被災する。 建物の被災により、市南部を中心に多数の市民が避難する。 国や自衛隊は、都心への応援を全力で行い、足利市も神奈川県大和市や鎌倉市、千葉県我孫子市、埼玉県内等への応援に着手する。 夜間で視界が悪く、役所への職員の参集が遅れる。
	休日の昼	<ul style="list-style-type: none"> 都心、千葉県西部、神奈川東部、埼玉県南部等、広域に激甚な被害となる。 市南部を中心に、建物の全壊・半壊が多数発生する。 建物の倒壊、家具等の転倒・落下等により、一部の住民が被災する。 建物の被災により、市南部を中心に多数の市民が避難する。 休日でも外出中の市や防災関係機関の職員の参集が遅れる。 国や自衛隊は、都心への応援を全力で行い、足利市も神奈川県大和市や鎌倉市、千葉県我孫子市、埼玉県内等への応援に着手する。 観光客等がゆれで混乱する。 足利学校、足利駅及び周辺の旅客は、付近の安全な場所へ自ら又は駅員等に誘導されて移動する。J R、東武とも運行再開の目処がたたず、駅前には東京方面等からの鉄道旅客がしばらく滞留する。
	平日の昼	<ul style="list-style-type: none"> 都心、千葉県西部、神奈川東部、埼玉県南部等、広域に激甚な被害となる。 市南部を中心に、建物の全壊・半壊が多数発生する。 建物の倒壊、家具等の転倒・落下等により、一部の住民が被災する。 建物の被災により、市南部を中心に多数の市民が避難する。 市や防災関係機関の職員は非常配備につき、被害状況調査等の初動対応を開始する。 国や自衛隊は、都心への応援を全力で行い、足利市も神奈川県大和市や鎌倉市、千葉県我孫子市、埼玉県内等への応援に着手する。 電話等の輻輳、首都圏の鉄道停止。 J R、東武とも運行再開の目処がたたず、駅前には市外からの通勤・通学者者がしばらく滞留する。 市外への通勤・通学者が帰宅できず、徒歩等で市内に戻ってくる。 また、保育所では市外勤務の保護者と連絡がとれず、翌朝まで園児等を保護する。

災害環境-7 気象庁震度階級

(平成 21 年 3 月)

階級	人 間	屋内の状況	屋外の状況	木造建物		鉄筋コンクリート造り建物		地盤の状況	斜面等の状況							
				耐震性が高い	耐震性が低い	耐震性が高い	耐震性が低い									
0	人は揺れを感じないが、地震計には記録される。															
1	屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。															
2	屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。眠っている人の中には、目を覚ます人もいる。	電灯などのつり下げ物が、わずかに揺れる。														
3	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。歩いている人の中には、揺れを感じ人もいる。眠っている人の大半が、目を覚ます。	棚にある食器類が音を立てることがある。	電線が少し揺れる。													
4	ほとんどの人が驚く。歩いている人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。	電灯などのつり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。座りの悪い置物が、倒れることがある。	電線が大きく揺れる。自動車を運転していて、揺れに気付く人がいる。													
5弱	大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。	電灯などのつり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の大半が倒れる。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。電柱が揺れるのわかる。道路に被害が生じることがある。							壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。					亀裂※1 や液状化※2 が生じることがある。	落石やがけ崩れが発生することがある。
5強	大半の人が、物につかまらないうと歩くこと難しいなど、行動に支障を感じる。	棚にある食器類、書棚の本で落ちるものが増える。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることがある。	窓ガラスが割れて落ちることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。据付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。自動車の運転が困難となり、停止する車もある。							壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。						
6弱	立っていることが困難になる。	固定していない家具の大半が移動し、倒れるものがある。ドアが開かなくなることがある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。	壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。	壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。壁などに大きなひび割れ・亀裂が入ることがある。瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。	壁、梁（はり）、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が入ることがある。	壁、梁（はり）、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が多くなる。	地割れが生じることがある。	がけ崩れや地すべりが発生することがある。							
6強	立っていることができず、はわないと歩くことができない。揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。	壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。	壁などに大きなひび割れ・亀裂が入るものが増える。傾くものや、倒れるものが増える。	壁、梁（はり）、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂が多くなる。	壁、梁（はり）、柱などの部材に、斜めや X 状のひび割れ・亀裂がみられることがある。1階あるいは中間階の柱が崩れ、倒れるものがある。	大きな地割れが生じることがある。	がけ崩れが多発し、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある※3。							
7		固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ばすことがある。	壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに多くなる。補強されているブロック塀も破損するものがある。	壁などのひび割れ・亀裂が多くなる。まれに傾くことがある。	傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。	壁、梁（はり）、柱などの部材に、ひび割れ・亀裂がさらに多くなる。1階あるいは中間階が変形し、まれに傾くものがある。	壁、梁（はり）、柱などの部材に、斜めや X 状のひび割れ・亀裂が多くなる。1階あるいは中間階の柱が崩れ、倒れるものが増える。									

(注 1) 木造建物(住宅)の耐震性により 2 つに区分けした。耐震性は、建築年代の新しいものほど高い傾向があり、概ね昭和 56 年(1981 年)以前は耐震性が低く、昭和 57 年(1982 年)以降には耐震性が高い傾向がある。しかし、構法の違いや壁の配置などにより耐震性に幅があるため、必ずしも建築年代が古いというだけで耐震性の高低が決まるものではない。既存建築物の耐震性は、耐震診断により把握することができる。

(注 2) この表における木造の壁のひび割れ、亀裂、損壊は、土壁(割り竹下地)、モルタル仕上壁(ラス、金網下地を含む)を想定している。下地の弱い壁は、建物の変形が少ない状況でも、モルタル等が剥離し、落下しやすくなる。

(注 3) 木造建物の被害は、地震の際の地震動の周期や継続時間によって異なる。平成 20 年(2008 年)岩手・宮城内陸地震のように、震度に比べ建物被害が少ない事例もある。

(注 4) 鉄筋コンクリート造建物では、建築年代の新しいものほど耐震性が高い傾向があり、概ね昭和 56 年(1981 年)以前は耐震性が低く、昭和 57 年(1982 年)以降は耐震性が高い傾向がある。しかし、構造形式や平面的、立面的な耐震壁の配置により耐震性に幅があるため、必ずしも建築年代が古いというだけで耐震性の高低が決まるものではない。既存建築物の耐震性は、耐震診断により把握することができる。

(注 5) 鉄筋コンクリート造建物は、建物の主体構造に影響を受けていない場合でも、軽微なひび割れがみられることがある。

※1 亀裂は、地割れと同じ現象であるが、ここでは規模の小さい地割れを亀裂として表記している。

※2 地下水位が高い、ゆるい砂地盤では、液状化が発生することがある。液状化が進行すると、地面からの泥水の噴出や地盤沈下が起こり、堤防や岸壁が壊れる、下水管やマンホールが浮き上がる、建物の土台が傾いたり壊れたりするなどの被害が発生することがある。

※3 大規模な地すべりや山体の崩壊等が発生した場合、地形等によっては天然ダムが形成されることがある。また、大量の崩壊土砂が土石流化することもある。

<注意> 気象庁が発表している震度は、原則として地表や低層建物の一階に設置した震度計による観測値です。この資料は、ある震度が観測された場合、その周辺で実際にどのような現象や被害が発生するかを示すもので、それぞれの震度に記述される現象から震度が決定されるものではありません。地震動は、地盤や地形に大きく影響されます。震度は震度計が置かれている地点での観測値であり、同じ市町村であっても場所によって震度が異なることがあります。また、中高層建物の上層階では一般に地表より揺れが強くなるなど、同じ建物の中でも、階や場所によって揺れの強さが異なります。

震度が同じであっても、地震動の振幅(揺れの大きさ)、周期(揺れが繰り返す時の 1 回あたりの時間の長さ)及び継続時間などの違いや、対象となる建物や構造物の状態、地盤の状況により被害は異なります。

この資料では、ある震度が観測された際に発生する被害の中で、比較的多く見られるものを記述しており、これより大きな被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。また、それぞれの震度階級で示されている全ての現象が発生するわけではありません。

この資料は、主に近年発生した被害地震の事例から作成したものです。今後、5 年程度で定期的な内容を点検し、新たな事例が得られたり、建物・構造物の耐震性の向上等によって実状と合わなくなった場合には変更します。

この資料では、被害などの量を概数で表せない場合に、一応の目安として、次の副詞・形容詞を用いています。

「まれに」: 極めて少ない。めったにない。「わずかに」: 数量・程度が非常に少ない。ほんの少し。「大半」: 半分以上。ほとんどよりは少ない。「ほとんど」: 全部ではないが、全部に近い。「多くなる」: 量的に表現できかねるが、下位の階級より多くなることを表す。

「さらに多くなる」: 「多くなる」と同じ意味。下位の階級で上記の「多くなる」が使われている場合に使用。「が(も)ある」、「が(も)いる」: 当該震度階級に特徴的に現れ始めることを表し、量的には多くはないがその数量・程度の概数を表現できかねる場合に使用。

災害環境-8 気象警報・注意報等発表基準（足利市）

（令和5年6月8日現在）

警 報	大雨	(浸水害)	表面雨量指数(※1)基準	20	
		(土砂災害)	土壌雨量指数(※2)基準	132	
	洪水		流域雨量指数(※3)基準	矢場川流域=9.3, 松田川流域=11.6, 旗川流域=26.1, 姥川流域=5, 名草川流域=7.3, 蓮台寺川流域=5, 小俣川流域=7.8, 尾名川流域=6.4	
			複合基準(※4)	渡良瀬川流域=(10, 40.9)	
			指定河川洪水予報による基準	袋川[千歳橋], 渡良瀬川上流部[高津戸・広見橋], 渡良瀬川下流部[足利]	
	暴風		平均風速	20m/s	
	暴風雪		平均風速	20m/s	雪を伴う
大雪		降雪の深さ	平地12時間降雪の深さ15cm		
注意報	大雨		表面雨量指数(※1)基準	10	
			土壌雨量指数(※2)基準	83	
	洪水		流域雨量指数(※3)基準	矢場川流域=7.4, 松田川流域=9.2, 旗川流域=20.8, 姥川流域=4, 名草川流域=5.8, 蓮台寺川流域=4, 小俣川流域=6.2, 尾名川流域=4.6	
			複合基準(※4)	渡良瀬川流域=(9, 36.8), 矢場川流域=(5, 7.4), 松田川流域=(8, 7.4), 姥川流域=(5, 3.7), 小俣川流域=(5, 3.9), 尾名川流域=(5, 4.6)	
			指定河川洪水予報による基準	袋川[千歳橋], 渡良瀬川上流部[高津戸・広見橋], 渡良瀬川下流部[足利]	
	強風		平均風速	12m/s	
	風雪		平均風速	12m/s	雪を伴う
	大雪		降雪の深さ	平地12時間降雪の深さ5cm	
	雷		落雷等により被害が予想される場合		
	濃霧		視程	100m	
	乾燥		最小湿度30% 実効湿度60%		
	なだれ		① 24時間降雪の深さが30cm以上 ② 40cm以上の積雪があつて日最高気温が6℃以上		
	低温		夏期：最低気温16℃以下が2日以上継続 冬期：最低気温-9℃以下		
	霜		早霜・晩霜期に最低気温4℃以下		
着氷・着雪		著しい着氷(雪)が予想される場合			
記録的短時間大雨情報			1時間雨量	110mm	

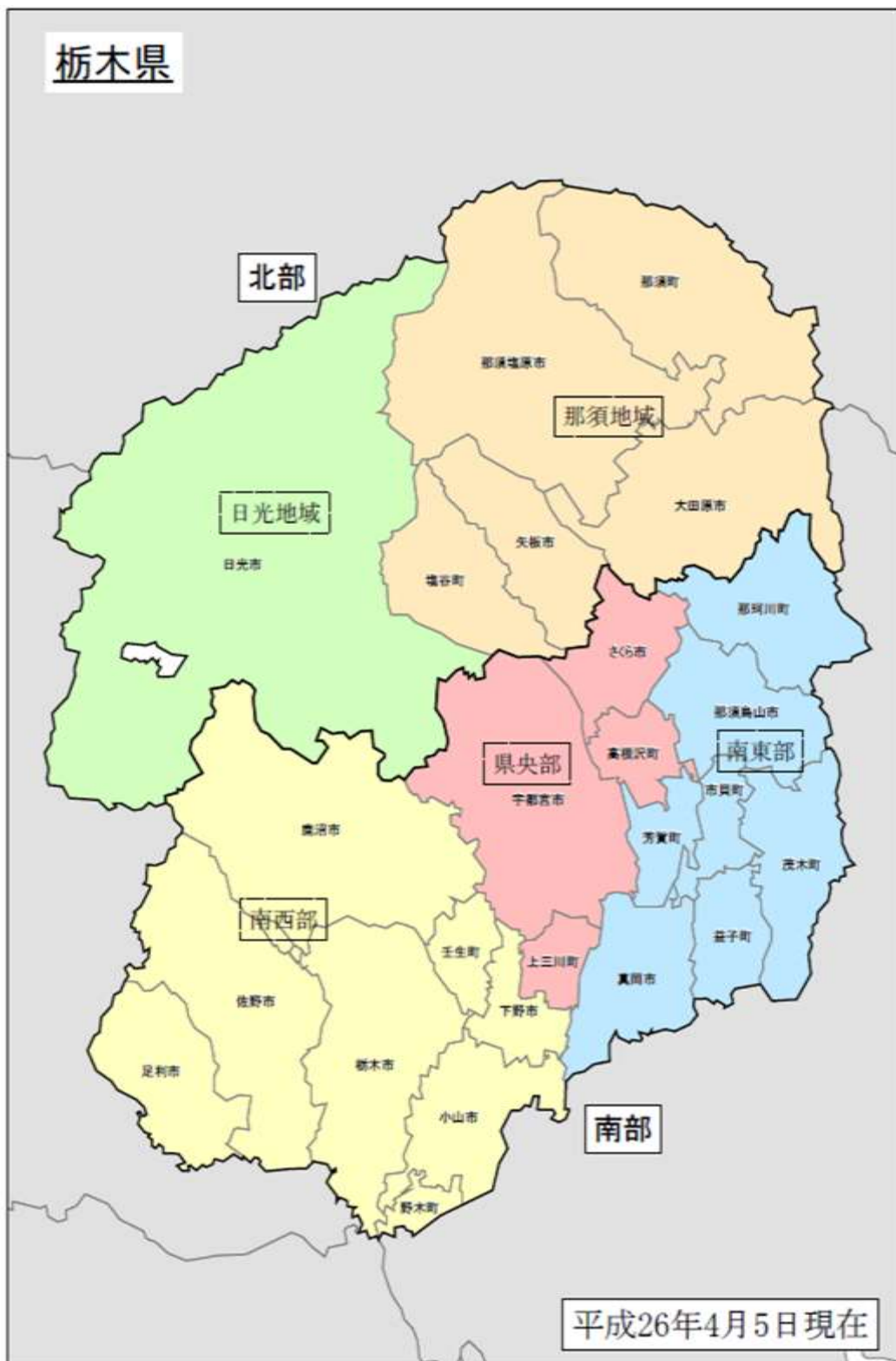
※1 表面雨量指数：短時間強雨による浸水危険度の高まりを把握するための指標。地面の被覆状況や地質、地形勾配などを考慮して、降った雨が地表面にどれだけ溜まっているかを示す指数。

※2 土壌雨量指数：降雨による土砂災害危険度の高まりを把握するための指標。現在降っている雨だけでなく、これまで降った雨も含め、雨が土壌中に水分量としてどれだけ溜まっているかを示す指数。

※3 流域雨量指数：河川の上流域に降った雨により、どれだけ下流の対象地点の洪水危険度が高まるかを把握するための指標。降った雨水が、地表面や地中を通して時間をかけて河川に流れ出し、さらに河川に沿って流れ下る量を示す指数。

※4 複合基準：(表面雨量指数, 流域雨量指数)の組み合わせによる基準値を表したもの。

災害環境-9 栃木県内気象警報・注意報の細分区域



災害環境-10 出水危険区域一覧

番号	位 置	戸 数 (概数)	要警戒事由	備 考
1	福居町二柱神社及び中里地区付近	100	野水による冠水	
2	八幡町、八幡宮十字路付近	30	下水溝の越水	
3	毛野新町団地北側	—	野水による道路冠水	三丁目・四丁目地内 3,000㎡
4	奥戸町全域	100	尾名川、旗川、出流川の 越水	
5	本城二丁目旧吉沢ジャージ付近	30	柳原用水の越水	
6	大月町三洋電機株付近	—	袋川の増水による道路冠 水	
7	錦町市営住宅東及び三中西付近	—	道路冠水	
8	島田町旧協和中北西付近	20	神明川の越水	
9	朝倉町 (293号沿のアピタ西南)	—	野水による道路冠水	
10	朝倉町東武生コン西付近	20	渡良瀬川の増水による溢 水	
11	八柵町 (県道桐生岩舟線)	—	尾名川の越水	
12	助戸一丁目、久松町県道桐生岩舟線 三共ガソリンスタンド交差点付近	10	野水の越水	
13	名草下町、菅田町登戸橋付近	20	名草川の越水	
14	山川町宮先地区	50	野水の越水	
15	足利市御厨テニスコート付近	20	早渡大排水の越水	
16	大久保町、川崎町、迫間町	100	尾名川の溢水	
17	稲岡町 (旗川沿い)、寺岡町の一部 (旗川、 出流川沿い)、駒場町 (富田小周辺)	310	旗川、出流川の越水	

災害環境-11 土砂災害警戒区域等指定箇所一覧

箇所番号	箇所名	位置		指定	指定区分		自然現象の 種類
		市	町		警戒区域	特別警戒区域	
I 01001	小森出沢	足利市	小俣町	H19	○		土石流
I 01002	森出沢	足利市	小俣町	H19	○		土石流
I 01003	半沢	足利市	小俣町	H29	○		土石流
I 01004	笹子沢	足利市	小俣町	H19	○		土石流
I 01005	八木沢	足利市	小俣町	H29	○	○	土石流
I 01006	深高沢	足利市	小俣町	H19	○	○	土石流
I 01007	森出二号沢	足利市	小俣町	H19	○	○	土石流
I 01008	松本沢	足利市	小俣町	H29	○		土石流
I 01009	彦谷三号沢	足利市	葉鹿町	H19	○	○	土石流
I 01010	彦谷二号沢	足利市	葉鹿町	H19	○	○	土石流
I 01011	彦谷沢	足利市	葉鹿町	H19	○	○	土石流
I 01012	程窪沢	足利市	板倉町	H19	○	○	土石流
I 01013	藤森沢	足利市	粟谷町	H19	○	○	土石流
I 01014	安中沢	足利市	粟谷町	H19	○	○	土石流
I 01015	道坂二号沢	足利市	粟谷町	H19	○	○	土石流
I 01016	道坂沢	足利市	粟谷町	H19	○	○	土石流
I 01017	西の沢	足利市	粟谷町	H19	○	○	土石流
I 01018	大船沢	足利市	粟谷町	H29	○		土石流
I 01019	大船二号沢	足利市	粟谷町	H19	○	○	土石流
I 01020	学校沢	足利市	板倉町	H19	○	○	土石流
I 01021	寺下沢	足利市	松田町	H19	○	○	土石流
I 01022	北寺二号沢	足利市	松田町	H19	○	○	土石流
I 01023	馬場二号沢	足利市	松田町	H19	○	○	土石流
I 01024	寺西沢	足利市	松田町	H19	○	○	土石流
I 01025	馬場沢	足利市	松田町	H19	○	○	土石流
I 01026	清水沢	足利市	松田町	H19	○	○	土石流
I 01027	清水二号沢	足利市	松田町	H19	○	○	土石流
I 01028	清水三号沢	足利市	松田町	H29	○		土石流
I 01029	中手沢	足利市	松田町	H19	○	○	土石流
I 01030	宮の沢	足利市	松田町	H19	○		土石流
I 01031	上宮の沢	足利市	松田町	H19	○	○	土石流
I 01032	湯ノ沢	足利市	松田町	H19	○	○	土石流
I 01033	中井沢	足利市	松田町	H19	○	○	土石流
I 01034	行道沢	足利市	松田町	H19	○	○	土石流
I 01035	矢竹沢	足利市	松田町	H19	○	○	土石流
I 01036	下川田沢	足利市	松田町	H19	○	○	土石流
I 01037	養命沢	足利市	松田町	H19	○	○	土石流
I 01038	金丸二号沢	足利市	板倉町	H19	○	○	土石流
I 01039	金丸沢	足利市	板倉町	H29	○		土石流
I 01040	大前二号沢	足利市	大前町	H19	○	○	土石流
I 01041	平石沢	足利市	山下町	H19	○	○	土石流
I 01042	山下二号沢	足利市	山下町	H19	○		土石流
I 01043	蔦ヶ入沢	足利市	五十部町	H29	○	○	土石流
I 01044	蔦ヶ入二号沢	足利市	五十部町				土石流
I 01045	西舟沢	足利市	五十部町	H29	○	○	土石流
I 01046	大岩沢	足利市	大岩町	H29	○		土石流
I 01047	多門沢	足利市	大岩町	H19	○	○	土石流
I 01048	毘沙門沢	足利市	大岩町	H19	○	○	土石流

箇所番号	箇所名	位置		指定	指定区分		自然現象の 種類
		市	町		警戒区域	特別警戒区域	
I 01049	毘沙門二号沢	足利市	大岩町	H19	○	○	土石流
I 01050	今福沢	足利市	今福町	H19	○	○	土石流
I 01051	西宮沢	足利市	西宮町	H20	○		土石流
I 01052	西宮二号沢	足利市	西宮町	H19	○	○	土石流
I 01053	両崖三号沢	足利市	本城一丁目	H19	○	○	土石流
I 01054	両崖二号沢	足利市	本城一丁目	H19	○	○	土石流
I 01055	両崖沢	足利市	本城一丁目	H19	○	○	土石流
I 01056	五十部沢	足利市	月谷町	H19	○	○	土石流
I 01057	五十部二号沢	足利市	月谷町	H29	○	○	土石流
I 01058	五十部三号沢	足利市	月谷町	H29	○		土石流
I 01059	五十部四号沢	足利市	月谷町	H19	○	○	土石流
I 01060	菅沢	足利市	月谷町	H19	○	○	土石流
I 01061	下菅沢	足利市	月谷町	H19	○		土石流
I 01062	上菅沢	足利市	月谷町	H19	○	○	土石流
I 01063	菅沢二号沢	足利市	月谷町	H19	○	○	土石流
I 01064	浄因寺沢	足利市	月谷町	H19	○	○	土石流
I 01065	月谷沢	足利市	月谷町	H19	○	○	土石流
I 01066	青二号沢	足利市	田島町	H19	○	○	土石流
I 01067	峯谷戸沢	足利市	月谷町	H29	○	○	土石流
I 01068	大深山沢	足利市	田島町	H19	○		土石流
I 01069	宮前二号沢	足利市	田島町	H19	○	○	土石流
I 01070	宮前三号沢	足利市	田島町	H20	○	○	土石流
I 01071	宮前沢	足利市	田島町	H19	○	○	土石流
I 01072	打越沢	足利市	田島町	H19	○	○	土石流
I 01073	光明寺沢	足利市	田島町	H29	○		土石流
I 01074	打越三号沢	足利市	田島町	H19	○	○	土石流
I 01075	持船沢	足利市	名草下町	H19	○	○	土石流
I 01076	杓子谷戸沢	足利市	名草下町	H19	○	○	土石流
I 01077	杓子谷戸二号沢	足利市	名草下町	H19	○	○	土石流
I 01078	中屋敷上沢	足利市	名草中町	H19	○	○	土石流
I 01079	宿二号沢	足利市	名草中町	H19	○	○	土石流
I 01080	中妻下沢	足利市	名草中町	H19	○	○	土石流
I 01081	中妻沢	足利市	名草中町	H19	○	○	土石流
I 01082	宮木二号沢	足利市	名草上町	H29	○	○	土石流
I 01083	宮木沢ノ沢	足利市	名草上町	H29	○		土石流
I 01084	広木二号沢	足利市	名草上町	H19	○	○	土石流
I 01085	赤頭沢	足利市	名草上町	H19	○		土石流
I 01086	勘定谷戸二号沢	足利市	名草上町	H19	○	○	土石流
I 01087	桧木沢	足利市	名草上町	H19	○	○	土石流
I 01088	勘定谷戸沢	足利市	名草上町	H19	○	○	土石流
I 01089	勘定沢	足利市	名草上町	H19	○	○	土石流
I 01090	大田和沢	足利市	名草上町	H19	○		土石流
I 01091	大田和二号沢	足利市	名草上町	H19	○		土石流
I 01092	勘定谷戸三号沢	足利市	名草上町	H19	○	○	土石流
I 01093	夏畑沢	足利市	名草上町	H19	○	○	土石流
I 01094	込縄沢	足利市	名草上町	H19	○	○	土石流
I 01095	足松沢	足利市	名草上町	H19	○		土石流
I 01096	江保地沢	足利市	名草上町	H19	○	○	土石流
I 01097	江保地二号沢	足利市	名草上町	H19	○	○	土石流
I 01098	平田谷戸沢	足利市	名草中町	H19	○	○	土石流

箇所番号	箇所名	位置		指定	指定区分		自然現象の 種類
		市	町		警戒区域	特別警戒区域	
I 01099	宿沢	足利市	名草中町	H19	○	○	土石流
I 01100	延分沢	足利市	名草中町	H19	○	○	土石流
I 01101	北大坂沢	足利市	名草下町	H19	○	○	土石流
I 01102	大坂沢	足利市	名草下町	H19	○		土石流
I 01103	下大坂二号沢	足利市	名草下町	H19	○	○	土石流
I 01104	下大坂二号沢	足利市	名草下町	H19	○	○	土石流
I 01105	赤坂二号沢	足利市	樺崎町	H29	○	○	土石流
I 01106	塩坂沢	足利市	樺崎町	H19	○	○	土石流
I 01107	塩坂川	足利市	樺崎町	H29	○	○	土石流
I 01108	赤坂沢	足利市	樺崎町	H19	○	○	土石流
I 01109	赤坂三号沢	足利市	樺崎町	H19	○	○	土石流
I 01110	馬坂二号沢	足利市	樺崎町	H19	○	○	土石流
I 01111	和田耕地沢	足利市	大月町	H19	○	○	土石流
I 01112	大月沢	足利市	大月町	H19	○	○	土石流
I 01113	西越床沢	足利市	大沼田町	H19	○	○	土石流
I 01114	越床沢	足利市	大沼田町	H19	○	○	土石流
I 01115	東越床沢	足利市	大沼田町	H19	○	○	土石流
I 01116	上大沼田沢	足利市	大沼田町	H19	○	○	土石流
I 01117	大小沢	足利市	大沼田町	H19	○		土石流
I 01118	下大沼田沢	足利市	大沼田町	H19	○	○	土石流
I 01119	鷹巣沢	足利市	大沼田町	H19	○	○	土石流
I 01120	小坂沢	足利市	西場町	H19	○	○	土石流
I 01121	寺の入沢	足利市	西場町	H19	○		土石流
I 01122	下西場沢	足利市	西場町	H19	○	○	土石流
II 01001	叶花二号沢	足利市	小俣町	H22	○	○	土石流
II 01002	叶花一号沢	足利市	小俣町	H22	○	○	土石流
II 01003	白葉沢	足利市	小俣町	H22	○		土石流
II 01004	小田入沢	足利市	小俣町	H22	○	○	土石流
II 01005	荒倉沢	足利市	小俣町	H22	○	○	土石流
II 01006	岩切沢	足利市	小俣町	H22	○	○	土石流
II 01007	二又沢	足利市	小俣町	H22	○	○	土石流
II 01008	鳴石一号沢	足利市	小俣町	H22	○	○	土石流
II 01009	鳴石二号沢	足利市	小俣町	H22	○	○	土石流
II 01010	あくとが沢	足利市	小俣町	H22	○	○	土石流
II 01011	森出三号沢	足利市	小俣町	H22	○	○	土石流
II 01012	叶花三号沢	足利市	小俣町	H22	○	○	土石流
II 01013	大平沢	足利市	小俣町	H22	○	○	土石流
II 01014	コガヌケ沢	足利市	小俣町	H22	○	○	土石流
II 01015	松本二号沢	足利市	小俣町	H22	○	○	土石流
II 01016	松本三号沢	足利市	小俣町	H22	○	○	土石流
II 01017	上西谷沢	足利市	粟谷町	H22	○	○	土石流
II 01018	後寺沢	足利市	松田町	H22	○	○	土石流
II 01019	北寺沢	足利市	松田町	H22	○	○	土石流
II 01020	原向田一号沢	足利市	粟谷町	H22	○	○	土石流
II 01021	原向田二号沢	足利市	粟谷町	H22	○	○	土石流
II 01022	道了沢	足利市	松田町	H22	○	○	土石流
II 01023	上道了沢	足利市	松田町	H22	○	○	土石流
II 01024	長石沢	足利市	松田町	H22	○	○	土石流
II 01025	湯ノ下沢	足利市	松田町	H22	○	○	土石流
II 01026	中井二号沢	足利市	松田町	H22	○	○	土石流

箇所番号	箇所名	位置		指定	指定区分		自然現象の 種類
		市	町		警戒区域	特別警戒区域	
Ⅱ01027	中井三号沢	足利市	松田町	H22	○	○	土石流
Ⅱ01028	中井四号沢	足利市	松田町	H22	○	○	土石流
Ⅱ01029	中井五号沢	足利市	松田町	H22	○	○	土石流
Ⅱ01030	中井六号沢	足利市	松田町	H22	○	○	土石流
Ⅱ01031	中井七号沢	足利市	松田町	H22	○	○	土石流
Ⅱ01032	中井八号沢	足利市	松田町	H22	○	○	土石流
Ⅱ01033	芝山沢	足利市	松田町	H22	○	○	土石流
Ⅱ01034	中手沢	足利市	松田町	H22	○	○	土石流
Ⅱ01035	松山二号沢	足利市	松田町	H22	○	○	土石流
Ⅱ01036	松山三号沢	足利市	松田町	H22	○	○	土石流
Ⅱ01037	馬打沢	足利市	松田町	H22	○	○	土石流
Ⅱ01038	不入四号沢	足利市	松田町	H22	○	○	土石流
Ⅱ01039	不入三号沢	足利市	松田町	H22	○	○	土石流
Ⅱ01040	不入二号沢	足利市	松田町	H22	○	○	土石流
Ⅱ01041	不入一号沢	足利市	松田町	H22	○	○	土石流
Ⅱ01042	行道二号沢	足利市	松田町	H22	○	○	土石流
Ⅱ01043	田中一号沢	足利市	松田町	H22	○	○	土石流
Ⅱ01044	田中二号沢	足利市	松田町	H22	○	○	土石流
Ⅱ01045	矢竹二号沢	足利市	松田町	H22	○	○	土石流
Ⅱ01046	矢竹三号沢	足利市	松田町	H22	○	○	土石流
Ⅱ01047	松目沢	足利市	板倉町	H22	○	○	土石流
Ⅱ01048	大前沢	足利市	大前町	H19	○	○	土石流
Ⅱ01049	宿沢	足利市	山下町	H19	○	○	土石流
Ⅱ01050	山下沢	足利市	山下町	H19	○	○	土石流
Ⅱ01051	大岩二号沢	足利市	大岩町	H29	○	○	土石流
Ⅱ01052	多門道一号沢	足利市	大岩町	H29	○	○	土石流
Ⅱ01053	多門道二号沢	足利市	大岩町	H29	○	○	土石流
Ⅱ01054	五十部五号沢	足利市	月谷町	H19	○	○	土石流
Ⅱ01055	五十部六号沢	足利市	月谷町	H29	○	○	土石流
Ⅱ01056	菅沢三号沢	足利市	月谷町	H19	○	○	土石流
Ⅱ01057	菅沢四号沢	足利市	月谷町	H19	○	○	土石流
Ⅱ01058	青沼一号沢	足利市	月谷町	19	○	○	土石流
Ⅱ01059	青沼二号沢	足利市	月谷町	20	○	○	土石流
Ⅱ01060	青沢	足利市	月谷町	19	○	○	土石流
Ⅱ01061	青沼三号沢	足利市	月谷町	19	○	○	土石流
Ⅱ01062	青沼四号沢	足利市	月谷町	19	○	○	土石流
Ⅱ01063	打越二号沢	足利市	田島町	19	○	○	土石流
Ⅱ01064	宮前四号沢	足利市	田島町	19	○	○	土石流
Ⅱ01065	宮前五号沢	足利市	田島町	19	○	○	土石流
Ⅱ01066	宮前六号沢	足利市	田島町	22	○	○	土石流
Ⅱ01067	持舟二号沢	足利市	田島町	22	○	○	土石流
Ⅱ01068	杓子谷戸三号沢	足利市	田島町	22	○	○	土石流
Ⅱ01069	中屋敷沢	足利市	名草中町	22	○	○	土石流
Ⅱ01070	田沢	足利市	名草上町	22	○	○	土石流
Ⅱ01071	足松三号沢	足利市	名草上町	22	○	○	土石流
Ⅱ01072	込縄二号沢	足利市	名草上町	22	○	○	土石流
Ⅱ01073	木戸沢	足利市	名草上町	22	○	○	土石流
Ⅱ01074	勘定谷戸五号沢	足利市	名草中町	22	○	○	土石流
Ⅱ01075	勘定谷戸四号沢	足利市	名草上町	22	○	○	土石流
Ⅱ01076	大田和三号沢	足利市	名草上町	22	○	○	土石流

箇所番号	箇所名	位置		指定	指定区分		自然現象の 種類
		市	町		警戒区域	特別警戒区域	
II 01077	南重根沢	足利市	名草上町	22	○	○	土石流
II 01078	勘定谷戸六号沢	足利市	名草上町	22	○	○	土石流
II 01079	勘定谷戸七号沢	足利市	名草上町	22	○	○	土石流
II 01080	足松二号沢	足利市	名草上町	22	○	○	土石流
II 01081	広木三号沢	足利市	名草上町	22	○	○	土石流
II 01082	広木沢	足利市	名草上町	22	○	○	土石流
II 01083	広木四号沢	足利市	名草上町	22	○	○	土石流
II 01084	江保地三号沢	足利市	名草上町	22	○	○	土石流
II 01085	平田谷戸二号沢	足利市	名草上町	22	○	○	土石流
II 01086	西須花三号沢	足利市	名草中町	22	○	○	土石流
II 01087	西須花一号沢	足利市	名草中町	22	○	○	土石流
II 01088	西須花二号沢	足利市	名草中町	22	○	○	土石流
II 01089	北大坂二号沢	足利市	名草中町	22	○	○	土石流
II 01090	北大坂三号沢	足利市	名草中町	22	○	○	土石流
II 01091	丸木沢	足利市	名草下町	19	○	○	土石流
II 01092	赤坂四号沢	足利市	樺崎町	23	○	○	土石流
II 01093	塩坂五号沢	足利市	樺崎町	23	○	○	土石流
II 01094	塩坂四号沢	足利市	樺崎町	23	○	○	土石流
II 01095	塩坂三号沢	足利市	樺崎町	23	○	○	土石流
II 01096	塩坂二号沢	足利市	樺崎町	23	○	○	土石流
II 01097	赤坂五号沢	足利市	樺崎町	23	○	○	土石流
II 01098	上馬坂沢	足利市	樺崎町	23	○	○	土石流
II 01099	馬坂沢	足利市	樺崎町	23	○	○	土石流
II 01100	西大沼田沢	足利市	大沼田町	23	○	○	土石流
J 01001	叶花四号沢	足利市	小俣町	23	○	○	土石流
J 01002	白葉二号沢	足利市	小俣町	23	○	○	土石流
J 01003	小田入二号沢	足利市	小俣町	23	○	○	土石流
J 01004	深高二号沢	足利市	小俣町	23	○	○	土石流
J 01005	深高三号沢	足利市	小俣町	23	○	○	土石流
J 01006	石尊沢	足利市	小俣町	23	○	○	土石流
J 01007	不動沢	足利市	小俣町	23	○	○	土石流
J 01008	不動二号沢	足利市	小俣町	23	○	○	土石流
J 01009	白葉三号沢	足利市	小俣町	23	○	○	土石流
J 01010	白葉四号沢	足利市	小俣町	23	○	○	土石流
J 01011	叶花五号沢	足利市	小俣町	23	○	○	土石流
J 01012	松本四号沢	足利市	小俣町	23	○	○	土石流
J 01013	彦谷四号沢	足利市	葉鹿町	23	○	○	土石流
J 01014	彦谷五号沢	足利市	葉鹿町	23	○	○	土石流
J 01015	彦谷六号沢	足利市	葉鹿町	23	○	○	土石流
J 01016	彦谷七号沢	足利市	葉鹿町	23	○	○	土石流
J 01017	上西谷二号沢	足利市	粟谷町	23	○	○	土石流
J 01018	湯ノ沢二号沢	足利市	松田町	23	○	○	土石流
J 01019	湯ノ沢三号沢	足利市	松田町	23	○	○	土石流
J 01020	湯ノ沢四号沢	足利市	松田町	23	○	○	土石流
J 01021	湯ノ沢五号沢	足利市	松田町	23	○	○	土石流
J 01022	中井九号沢	足利市	松田町	23	○	○	土石流
J 01023	中井十号沢	足利市	松田町	23	○	○	土石流
J 01024	中井十一号沢	足利市	松田町	23	○	○	土石流
J 01025	中井十二号沢	足利市	松田町	23	○	○	土石流
J 01026	馬打二号沢	足利市	松田町	23	○	○	土石流

箇所番号	箇所名	位置		指定	指定区分		自然現象の種類
		市	町		警戒区域	特別警戒区域	
J 01027	馬打三号沢	足利市	松田町	23	○	○	土石流
J 01028	大岩三号沢	足利市	大岩町	23	○	○	土石流
J 01029	五十部七号沢	足利市	月谷町	23	○	○	土石流
J 01030	青沼五号沢	足利市	月谷町	23	○	○	土石流
J 01031	一の沢	足利市	田島町	23	○	○	土石流
J 01032	中妻上沢	足利市	名草中町	23	○	○	土石流
J 01033	勘定谷戸八号沢	足利市	名草上町	23	○		土石流
J 01034	勘定谷戸九号沢	足利市	名草上町	23	○	○	土石流
J 01035	大田和四号沢	足利市	名草上町	23	○	○	土石流
J 01036	大田和五号沢	足利市	名草上町	23	○	○	土石流
J 01037	大田和六号沢	足利市	名草上町	23	○	○	土石流
J 01038	大田和七号沢	足利市	名草上町	23	○	○	土石流
J 01039	大田和八号沢	足利市	名草上町	23	○	○	土石流
J 01040	大田和九号沢	足利市	名草上町	23	○	○	土石流
J 01041	西須花四号沢	足利市	名草中町	23	○	○	土石流
J 01042	西須花五号沢	足利市	名草中町	23	○	○	土石流
J 01043	西須花六号沢	足利市	名草中町	23	○	○	土石流
J 01044	北大坂四号沢	足利市	名草下町	23	○	○	土石流
J 01045	塩坂六号沢	足利市	樺崎町	23	○	○	土石流
J 01046	塩坂七号沢	足利市	樺崎町	23	○	○	土石流
J 01047	塩坂八号沢	足利市	樺崎町	23	○	○	土石流
J 01048	塩坂九号沢	足利市	樺崎町	23	○	○	土石流
J 01049	塩坂十号沢	足利市	樺崎町	23	○	○	土石流
J 01050	西大沼田二号沢	足利市	大沼田町	23	○		土石流
I I 0001	五十部八号沢	足利市	月谷町	R3	○	○	土石流
I I 0002	南耕地沢	足利市	大月町	R3	○	○	土石流
I I 0003	南耕地一号沢	足利市	大月町	R3	○	○	土石流
I I 0004	山川沢	足利市	山川町	R3	○	○	土石流
II I 0001	岩切一号沢	足利市	小俣町	R3	○	○	土石流
II I 0002	不入五号沢	足利市	松田町	R3	○	○	土石流
II I 0003	青沼六号沢	足利市	月谷町	R3	○	○	土石流
II I 0004	塩坂十一号沢	足利市	樺崎町	R3	○	○	土石流
III I 0001	湯ノ沢六号沢	足利市	松田町	R3	○	○	土石流
III I 0002	彦谷八号沢	足利市	葉鹿町	R3	○	○	土石流
III I 0003	田中三号沢	足利市	松田町	R3	○	○	土石流
土石流危険箇所					282箇所	252箇所	

箇所番号	箇所名	位置		指定	指定区分		自然現象の種類
		市	町		警戒区域	特別警戒区域	
202- I -001	本城	足利市	本城町	19	○	○	急傾斜
202- I -002	本城（2工区）	足利市	本城町	19	○	○	急傾斜
202- I -003	法楽寺南	足利市	本城町	19	○	○	急傾斜
202- I -004	田島	足利市	田島町	H29	○	○	急傾斜
202- I -005	県営駐車場付近	足利市	月谷町	19	○	○	急傾斜
202- I -006	勘定谷戸	足利市	名草上町	H29	○	○	急傾斜
202- I -007	込縄	足利市	名草上町	19	○	○	急傾斜
202- I -008	助戸	足利市	助戸大橋町	19	○	○	急傾斜
202- I -010	神谷	足利市	小俣町	19	○	○	急傾斜
202- I -011	長林寺	足利市	山川町	19	○	○	急傾斜
202- I -012	宮先通	足利市	山川町	19	○	○	急傾斜

箇所番号	箇所名	位置		指定	指定区分		自然現象の種類
		市	町		警戒区域	特別警戒区域	
202-I-013	西根	足利市	大沼田町	19	○	○	急傾斜
202-I-014	多田木町	足利市	多田木町	19	○		急傾斜
202-I-015	西小学校東	足利市	西宮町	19	○	○	急傾斜
202-I-016	法玄寺東	足利市	巴町	19	○	○	急傾斜
202-I-017	田島町	足利市	田島町	19	○	○	急傾斜
202-I-018	山川	足利市	山川町	19	○	○	急傾斜
202-I-019	東山	足利市	五十部町	19	○	○	急傾斜
202-I-020	天満宮	足利市	八柵町	H29	○	○	急傾斜
202-I-021	木の下	足利市	板倉町	19	○	○	急傾斜
202-I-022	大月町西側	足利市	大月町	19	○	○	急傾斜
202-I-023	堤谷	足利市	樺崎町	19	○	○	急傾斜
202-I-026	田中	足利市	田中町	19	○	○	急傾斜
202-I-027	板倉(金丸)	足利市	板倉町	19	○	○	急傾斜
202-I-028	本城二丁目	足利市	本城町	19	○	○	急傾斜
202-I-029	梅ヶ丘2	足利市	西宮町	19	○	○	急傾斜
202-I-030	こころみ学園	足利市	田島町	H29	○	○	急傾斜
202-I-031	浅間山西斜面	足利市	借宿町	19	○	○	急傾斜
202-I-032	浅間山北	足利市	借宿町	19	○	○	急傾斜
202-I-033	今福	足利市	今福町	19	○	○	急傾斜
202-I-034	今福(2工区)	足利市	今福町	19	○	○	急傾斜
202-I-035	薦ヶ入	足利市	五十部町	H29	○	○	急傾斜
202-I-036	工業試験場西	足利市	西宮町	H29	○	○	急傾斜
202-I-037	西宮	足利市	西宮町	19	○	○	急傾斜
202-I-038	第一中西	足利市	西宮町	19	○	○	急傾斜
202-I-039	西宮神宮西	足利市	西宮町	19	○	○	急傾斜
202-I-040	田中団地	足利市	田中町	19	○	○	急傾斜
202-I-041	富士金属西	足利市	田中町	19	○	○	急傾斜
202-I-042	日赤裏	足利市	本城町	19	○	○	急傾斜
202-I-043	法楽寺北	足利市	本城町	19	○	○	急傾斜
202-I-044	大岩三又路西	足利市	大岩町	19	○	○	急傾斜
202-I-045	法楽寺西	足利市	本城町	19	○	○	急傾斜
202-I-046	足利高校西	足利市	本城町	19	○	○	急傾斜
202-I-047	本城溜池北	足利市	本城町	19	○	○	急傾斜
202-I-048	みそぎ教会	足利市	本城町	19	○	○	急傾斜
202-I-049	袋川大橋東	足利市	助戸大橋町	H29	○	○	急傾斜
202-I-050	山土家裏	足利市	助戸東山町	19	○	○	急傾斜
202-I-051	八間道路東	足利市	助戸大橋町	H29	○	○	急傾斜
202-I-052	日赤分院南	足利市	助戸東山町	19	○	○	急傾斜
202-I-053	隧道北	足利市	助戸東山町	19	○	○	急傾斜
202-I-054	隧道南	足利市	助戸東山町	19	○	○	急傾斜
202-I-055	足利工高西	足利市	西宮町	19	○	○	急傾斜
202-I-056	足工グランド東	足利市	五十部町	19	○	○	急傾斜
202-I-057	岡田冷熱東南	足利市	五十部町	19	○	○	急傾斜
202-I-058	吾妻坂北	足利市	今福町	19	○	○	急傾斜
202-I-059	吾妻坂南	足利市	今福町	H29	○	○	急傾斜
202-I-060	養護学校裏	足利市	大月町	19	○	○	急傾斜
202-I-061	陸橋北	足利市	今福町	19	○	○	急傾斜
202-I-062	福巖寺北	足利市	通町	19	○	○	急傾斜
202-I-063	中妻E	足利市	小俣町	19	○	○	急傾斜
202-I-064	彦谷A	足利市	葉鹿町	19	○	○	急傾斜

箇所番号	箇所名	位置		指定	指定区分		自然現象の 種類
		市	町		警戒区域	特別警戒区域	
202-I-065	大前町C	足利市	大前町	19	○	○	急傾斜
202-I-066	勘定谷戸G	足利市	名草上町	19	○	○	急傾斜
202-I-067	勘定谷戸H	足利市	名草上町	19	○	○	急傾斜
202-I-068	平田谷戸A	足利市	名草中町	19	○	○	急傾斜
202-I-069	平田谷戸B	足利市	名草中町	19	○	○	急傾斜
202-I-071	西根E	足利市	菅田町	H29	○	○	急傾斜
202-I-072	西根F	足利市	菅田町	19	○	○	急傾斜
202-I-073	樺崎町A	足利市	樺崎町	19	○	○	急傾斜
202-I-074	入谷B	足利市	樺崎町	19	○	○	急傾斜
202-I-075	原向田C	足利市	松田町	19	○	○	急傾斜
202-I-076	月谷町A	足利市	月谷町	19	○	○	急傾斜
202-I-077	本城一丁目A	足利市	本城町	19	○	○	急傾斜
202-I-078	駒場町A	足利市	駒場町	19	○	○	急傾斜
202-I-079	勘定谷戸B	足利市	名草上町	19	○	○	急傾斜
202-I-080	大沼田町C	足利市	大沼田町	20	○		急傾斜
202-I-081	大沼田町D	足利市	大沼田町	19	○	○	急傾斜
202-I-082	大沼田町E	足利市	大沼田町	19	○	○	急傾斜
202-I-083	大沼田町F	足利市	大沼田町	19	○	○	急傾斜
202-I-084	山川町C	足利市	山川町	19	○	○	急傾斜
202-I-085	和田耕地B	足利市	大月町	20	○	○	急傾斜
202-I-086	通七丁目A	足利市	通町	19	○	○	急傾斜
202-I-087	今福町A	足利市	今福町	19	○	○	急傾斜
202-I-088	中手E	足利市	松田町	19	○	○	急傾斜
202-I-089	中手F	足利市	松田町	19	○	○	急傾斜
202-I-090	清水C	足利市	松田町	19	○	○	急傾斜
202-I-091	中通B	足利市	松田町	19	○	○	急傾斜
202-I-092	多門道A	足利市	大岩町	19	○	○	急傾斜
202-I-093	多門道B	足利市	大岩町	19	○	○	急傾斜
202-I-094	多門道C	足利市	大岩町	19	○	○	急傾斜
202-I-095	多門道D	足利市	大岩町	H29	○	○	急傾斜
202-I-096	多門道F	足利市	大岩町	19	○	○	急傾斜
202-I-097	多門道G	足利市	大岩町	H29	○	○	急傾斜
202-I-098	西舟B	足利市	五十部町	19	○	○	急傾斜
202-I-099	西宮町A	足利市	西宮町	19	○	○	急傾斜
202-I-100	今福町C	足利市	今福町	19	○	○	急傾斜
202-I-101	五十部町A	足利市	五十部町	H29	○	○	急傾斜
202-I-102	内郷A	足利市	五十部町	19	○	○	急傾斜
202-I-103	五十部町B	足利市	五十部町	19	○	○	急傾斜
202-I-104	五十部町C	足利市	五十部町	19	○	○	急傾斜
202-I-105	湯ノ沢C	足利市	松田町	19	○	○	急傾斜
202-I-106	町屋A	足利市	小俣町	19	○	○	急傾斜
202-I-107	大沼田町G	足利市	大沼田町	19	○	○	急傾斜
202-I-109	山下南(白山神社)	足利市	山下町	19	○		急傾斜
202-II-001	岩切	足利市	小俣町	22	○	○	急傾斜
202-II-004	湯ノ沢E	足利市	松田町	22	○	○	急傾斜
202-II-005	下濁沼A	足利市	小俣町	22	○	○	急傾斜
202-II-006	上野田C	足利市	小俣町	22	○	○	急傾斜
202-II-007	大船B	足利市	粟谷町	22	○	○	急傾斜
202-II-008	粟谷町A	足利市	粟谷町	22	○	○	急傾斜
202-II-009	粟谷町B	足利市	粟谷町	22	○	○	急傾斜

箇所番号	箇所名	位置		指定	指定区分		自然現象の種類
		市	町		警戒区域	特別警戒区域	
202-II-010	粟谷町C	足利市	粟谷町	22	○	○	急傾斜
202-II-011	粟谷町D	足利市	粟谷町	22	○	○	急傾斜
202-II-012	道坂B	足利市	粟谷町	23	○	○	急傾斜
202-II-013	道坂C	足利市	粟谷町	23	○	○	急傾斜
202-II-015	熊野D	足利市	葉鹿町	22	○	○	急傾斜
202-II-016	板倉A	足利市	板倉町	22	○	○	急傾斜
202-II-017	板倉B	足利市	板倉町	22	○	○	急傾斜
202-II-018	大前町A	足利市	大前町	22	○	○	急傾斜
202-II-019	宿J	足利市	山下町	19	○	○	急傾斜
202-II-020	中井C	足利市	松田町	22	○	○	急傾斜
202-II-021	勘定谷戸D	足利市	名草上町	22	○	○	急傾斜
202-II-022	勘定谷戸E	足利市	名草上町	22	○	○	急傾斜
202-II-024	込縄B	足利市	名草上町	22	○	○	急傾斜
202-II-025	足松A	足利市	名草上町	22	○	○	急傾斜
202-II-026	中井D	足利市	松田町	22	○	○	急傾斜
202-II-028	名草上町B	足利市	名草上町	22	○	○	急傾斜
202-II-029	宮木沢A	足利市	名草上町	22	○	○	急傾斜
202-II-030	須花A	足利市	名草中町	22	○	○	急傾斜
202-II-031	名草下町C	足利市	名草下町	22	○	○	急傾斜
202-II-032	原向田A	足利市	松田町	22	○	○	急傾斜
202-II-033	名草下町D	足利市	名草下町	22	○	○	急傾斜
202-II-034	名草下町E	足利市	名草下町	22	○	○	急傾斜
202-II-035	名草下町F	足利市	名草下町	22	○	○	急傾斜
202-II-036	入谷A	足利市	樺崎町	22	○	○	急傾斜
202-II-037	入谷C	足利市	樺崎町	22	○	○	急傾斜
202-II-039	樺崎町C	足利市	樺崎町	22	○	○	急傾斜
202-II-040	馬坂D	足利市	樺崎町	22	○	○	急傾斜
202-II-041	東耕地A	足利市	大月町	22	○	○	急傾斜
202-II-042	和田耕地A	足利市	大月町	22	○	○	急傾斜
202-II-043	青沼B	足利市	月谷町	19	○	○	急傾斜
202-II-044	青沼C	足利市	月谷町	19	○	○	急傾斜
202-II-045	菅沢C	足利市	月谷町	19	○	○	急傾斜
202-II-047	月谷町B	足利市	月谷町	19	○	○	急傾斜
202-II-048	五十部A	足利市	月谷町	19	○	○	急傾斜
202-II-049	宮ヶ入A	足利市	田島町	22	○	○	急傾斜
202-II-050	打越A	足利市	田島町	19	○	○	急傾斜
202-II-051	田島町A	足利市	田島町	19	○	○	急傾斜
202-II-052	持舟A	足利市	名草下町	22	○	○	急傾斜
202-II-053	原向田E	足利市	松田町	22	○	○	急傾斜
202-II-054	持舟B	足利市	名草下町	22	○	○	急傾斜
202-II-055	西場町C	足利市	西場町	22	○	○	急傾斜
202-II-056	多田木町B	足利市	多田木町	22	○	○	急傾斜
202-II-057	大沼田町A	足利市	大沼田町	22	○	○	急傾斜
202-II-058	原向田F	足利市	松田町	22	○	○	急傾斜
202-II-059	大沼田町A	足利市	大沼田町	22	○	○	急傾斜
202-II-060	鷹巣A	足利市	大沼田町	22	○	○	急傾斜
202-II-062	中手A	足利市	松田町	22	○	○	急傾斜
202-II-063	和田耕地C	足利市	大月町	22	○	○	急傾斜
202-II-064	中手B	足利市	松田町	22	○	○	急傾斜
202-II-065	中手G	足利市	松田町	22	○	○	急傾斜

箇所番号	箇所名	位置		指定	指定区分		自然現象の種類
		市	町		警戒区域	特別警戒区域	
202-II-066	中手H	足利市	松田町	22	○	○	急傾斜
202-II-067	松山C	足利市	松田町	22	○	○	急傾斜
202-II-068	松山D	足利市	松田町	22	○	○	急傾斜
202-II-069	清水A	足利市	松田町	22	○	○	急傾斜
202-II-070	清水B	足利市	松田町	22	○	○	急傾斜
202-II-071	清水D	足利市	松田町	22	○	○	急傾斜
202-II-072	宮前L	足利市	松田町	22	○	○	急傾斜
202-II-073	不入A	足利市	松田町	22	○	○	急傾斜
202-II-074	不入B	足利市	松田町	22	○	○	急傾斜
202-II-075	不入D	足利市	松田町	22	○	○	急傾斜
202-II-076	馬場A	足利市	松田町	22	○	○	急傾斜
202-II-077	上川田A	足利市	松田町	22	○	○	急傾斜
202-II-078	矢竹A	足利市	松田町	22	○	○	急傾斜
202-II-079	下川田A	足利市	松田町	22	○	○	急傾斜
202-II-080	久保田A	足利市	松田町	22	○	○	急傾斜
202-II-081	久保田B	足利市	松田町	22	○	○	急傾斜
202-II-082	熊野E	足利市	松田町	22	○	○	急傾斜
202-II-083	中の目A	足利市	板倉町	22	○	○	急傾斜
202-II-084	河原A	足利市	板倉町	22	○	○	急傾斜
202-II-085	金丸A	足利市	板倉町	19	○	○	急傾斜
202-II-086	金丸B	足利市	板倉町	19	○	○	急傾斜
202-II-087	金丸C	足利市	板倉町	19	○	○	急傾斜
202-II-088	月谷町D	足利市	月谷町	19	○	○	急傾斜
202-II-089	月谷町E	足利市	月谷町	19	○	○	急傾斜
202-II-090	湯ノ沢A	足利市	松田町	22	○	○	急傾斜
202-II-091	月谷町F	足利市	月谷町	19	○	○	急傾斜
202-II-092	月谷町G	足利市	月谷町	19	○	○	急傾斜
202-II-093	月谷町H	足利市	月谷町	19	○	○	急傾斜
202-II-094	湯ノ沢B	足利市	松田町	22	○	○	急傾斜
202-II-095	西舟C	足利市	五十部町	19	○	○	急傾斜
202-II-096	五十部町D	足利市	五十部町	22	○	○	急傾斜
202-II-097	岩切B	足利市	小俣町	22	○	○	急傾斜
202-II-098	岩切C	足利市	小俣町	22	○	○	急傾斜
202-II-099	荒倉A	足利市	小俣町	22	○	○	急傾斜
202-II-100	鳴石A	足利市	小俣町	22	○	○	急傾斜
202-II-101	神谷A	足利市	小俣町	22	○	○	急傾斜
202-II-102	神谷B	足利市	小俣町	22	○	○	急傾斜
202-II-103	神谷C	足利市	小俣町	22	○	○	急傾斜
202-II-104	湯ノ沢D	足利市	松田町	22	○	○	急傾斜
202-II-105	北町A	足利市	小俣町	22	○	○	急傾斜
202-II-106	北町B	足利市	小俣町	22	○	○	急傾斜
202-II-107	白葉A	足利市	小俣町	22	○	○	急傾斜
202-II-108	白葉B	足利市	小俣町	22	○	○	急傾斜
202-II-109	小俣町A	足利市	小俣町	22	○	○	急傾斜
202-II-110	小俣町B	足利市	小俣町	22	○	○	急傾斜
202-II-111	叶花A	足利市	小俣町	22	○	○	急傾斜
202-II-112	松本A	足利市	小俣町	22	○	○	急傾斜
202-II-113	下濁沼B	足利市	小俣町	22	○	○	急傾斜
202-II-114	青沼A	足利市	月谷町	19	○	○	急傾斜
202-II-115	打越B	足利市	田島町	19	○	○	急傾斜

箇所番号	箇所名	位置		指定	指定区分		自然現象の種類
		市	町		警戒区域	特別警戒区域	
202-II-116	利保町a	足利市	利保町	22	○	○	急傾斜
202-II-117	馬返a	足利市	樺崎町	22	○	○	急傾斜
202-II-118	湯ノ沢 b	足利市	松田町	22	○	○	急傾斜
202-II-120	久保田C	足利市	松田町	22	○	○	急傾斜
202-II-121	城山B	足利市	小俣町	22	○	○	急傾斜
202-II-122	梅ヶ丘	足利市	西宮町	19	○	○	急傾斜
202-II-141	青沼D	足利市	月谷町	19	○	○	急傾斜
202-II-002	菊池鉄工業	足利市	借宿町	22	○	○	急傾斜
202-II-003	アパート裏	足利市	田中町	22	○	○	急傾斜
202-III-001	勘定谷戸A	足利市	名草上町	23	○	○	急傾斜
202-III-002	上野田A	足利市	小俣町	23	○	○	急傾斜
202-III-003	大船A	足利市	粟谷町	23	○	○	急傾斜
202-III-004	中井B	足利市	松田町	23	○	○	急傾斜
202-III-005	菅田町B	足利市	菅田町	23	○	○	急傾斜
202-III-006	原向田B	足利市	松田町	23	○	○	急傾斜
202-III-009	中手C	足利市	松田町	23	○	○	急傾斜
202-III-010	中手D	足利市	松田町	23	○	○	急傾斜
202-III-011	松田町A	足利市	松田町	23	○	○	急傾斜
202-III-012	松田町B	足利市	松田町	23	○	○	急傾斜
202-III-013	岩切A	足利市	小俣町	23	○	○	急傾斜
202-III-014	神谷D	足利市	小俣町	23	○	○	急傾斜
202-III-016	青沼 b	足利市	月谷町	23	○	○	急傾斜
202-III-017	青沼 c	足利市	月谷町	23	○	○	急傾斜
202-III-018	打越 b	足利市	田島町	23	○	○	急傾斜
202-III-019	月谷町a	足利市	月谷町	23	○	○	急傾斜
202-III-020	菅田町C	足利市	菅田町	19	○	○	急傾斜
202-III-021	樺崎町a	足利市	樺崎町	23	○	○	急傾斜
202-III-022	大沼田町a	足利市	大沼田町	23	○	○	急傾斜
202-III-023	中手a	足利市	松田町	23	○	○	急傾斜
202-III-024	中手 b	足利市	松田町	23	○	○	急傾斜
202-III-025	松山a	足利市	松田町	23	○	○	急傾斜
202-III-026	宮前a	足利市	松田町	23	○	○	急傾斜
202-III-027	下川田a	足利市	松田町	23	○	○	急傾斜
202-III-028	粟谷町a	足利市	粟谷町	23	○	○	急傾斜
202-III-029	城山a	足利市	小俣町	23	○	○	急傾斜
202-I-1000	助戸新山	足利市	助戸新山町	19	○	○	急傾斜
202-I-1001	女浅間神社西	足利市	借宿町	22	○	○	急傾斜
202-II-1000	菊池鉄工業南	足利市	借宿町	H29	○	○	急傾斜
202-I-1001	大沼田町 IH	足利市	大沼田町	R3	○	○	急傾斜
202-I-1002	月谷町 II	足利市	月谷町	R3	○	○	急傾斜
202-I-1003	西場町 ID	足利市	西場町	R3	○	○	急傾斜
202-I-1004	宮前 IB	足利市	田島町	R3	○	○	急傾斜
202-I-1005	宮ノ入 IA	足利市	田島町	R3	○	○	急傾斜
202-I-1006	月谷町 IJ	足利市	月谷町	R3	○	○	急傾斜
202-I-1007	月谷町 IK	足利市	月谷町	R3	○	○	急傾斜
202-I-1008	名草中町 IA	足利市	名草中町	R3	○	○	急傾斜
202-I-1009	宿 IA	足利市	名草中町	R3	○	○	急傾斜
202-I-1010	入谷 IE	足利市	樺崎町	R3	○	○	急傾斜
202-I-1011	大沼田町 IJ	足利市	大沼田町	R3	○	○	急傾斜
202-I-1012	月谷町 IL	足利市	月谷町	R3	○	○	急傾斜

箇所番号	箇所名	位置		指定	指定区分		自然現象の種類
		市	町		警戒区域	特別警戒区域	
202-I-1013	宮木沢 I B	足利市	名草上町	R3	○	○	急傾斜
202-I-1014	月谷町 I M	足利市	月谷町	R3	○	○	急傾斜
202-I-1015	宮前 I C	足利市	田島町	R3	○	○	急傾斜
202-I-1016	月谷町 I N	足利市	月谷町	R3	○	○	急傾斜
202-I-1017	織姫公園 I A	足利市	西宮町	R3	○	○	急傾斜
202-I-1018	織姫公園 I B	足利市	西宮町	R3	○	○	急傾斜
202-I-1019	西宮町 I B	足利市	西宮町	R3	○	○	急傾斜
202-I-1020	本城一丁目 I C	足利市	本城一丁目	R3	○	○	急傾斜
202-I-1021	田島町 I C	足利市	田島町	R3	○	○	急傾斜
202-I-1022	青沼 I G	足利市	月谷町	R3	○	○	急傾斜
202-I-1023	月谷町 I Q	足利市	月谷町	R3	○	○	急傾斜
202-I-1024	名草下町 I J	足利市	名草下町	R3	○	○	急傾斜
202-I-1025	大沼田町 I K	足利市	大沼田町	R3	○	○	急傾斜
202-I-1026	板倉 I A	足利市	板倉町	R3	○	○	急傾斜
202-I-1027	原向田 I A	足利市	松田町	R3	○	○	急傾斜
202-I-1028	勘定谷戸 I A	足利市	名草上町	R3	○	○	急傾斜
202-I-1029	勘定谷戸 I B	足利市	名草上町	R3	○	○	急傾斜
202-I-1030	込縄 I A	足利市	名草上町	R3	○	○	急傾斜
202-I-1031	田ノ沢 I B	足利市	名草上町	R3	○	○	急傾斜
202-I-1032	湯ノ沢 I C	足利市	松田町	R3	○	○	急傾斜
202-I-1033	松本 I A	足利市	小俣町	R3	○	○	急傾斜
202-I-1034	中出 I B	足利市	松田町	R3	○	○	急傾斜
202-I-1035	清水 I A	足利市	松田町	R3	○	○	急傾斜
202-I-1036	中妻 I A	足利市	名草中町	R3	○	○	急傾斜
202-I-1037	森出 I A	足利市	小俣町	R3	○	○	急傾斜
202-I-1038	西宮町 I A	足利市	西宮町	R3	○	○	急傾斜
202-I-1039	打越 I C	足利市	田島町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1001	樺崎町 II D	足利市	樺崎町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1002	長林寺北 II	足利市	山川町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1003	山下町 II A	足利市	山下町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1004	青沼 II E	足利市	月谷町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1005	宮前 II A	足利市	田島町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1007	名草下町 II G	足利市	名草下町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1008	大沼田町 II I	足利市	大沼田町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1009	板倉 II C	足利市	板倉町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1010	名草下町 II H	足利市	名草下町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1011	塩坂 II A	足利市	樺崎町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1012	中屋敷 II A	足利市	名草中町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1013	杓子谷戸 II A	足利市	名草下町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1014	杓子谷戸 II B	足利市	名草下町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1015	菅田町 II D	足利市	名草下町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1016	本城一丁目 II B	足利市	本城一丁目	R3	○	○	急傾斜
202-II-1017	月谷町 II O	足利市	月谷町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1018	田中町 II A	足利市	田中町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1019	多門道 II H	足利市	大岩町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1020	月谷町 II P	足利市	月谷町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1021	青沼 II F	足利市	月谷町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1022	青沼 II H	足利市	月谷町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1023	彦谷 II A	足利市	葉鹿町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1024	道坂 II A	足利市	粟谷町	R3	○	○	急傾斜

箇所番号	箇所名	位置		指定	指定区分		自然現象の 種類
		市	町		警戒区域	特別警戒区域	
202-II-1025	栗谷町II A	足利市	栗谷町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1026	久保田II A	足利市	松田町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1027	湯ノ沢II A	足利市	松田町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1028	上野田II A	足利市	葉鹿町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1029	松田町II A	足利市	松田町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1030	勘定谷戸II C	足利市	名草上町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1031	松田町II B	足利市	松田町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1032	矢竹II A	足利市	松田町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1033	久保田II B	足利市	松田町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1034	多門道II A	足利市	大岩町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1035	湯ノ沢II B	足利市	松田町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1036	原向田II B	足利市	松田町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1037	森出II A	足利市	小俣町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1038	江保地II A	足利市	名草上町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1039	名草上町II A	足利市	名草上町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1040	須花II A	足利市	名草中町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1041	彦谷II B	足利市	葉鹿町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1042	平田谷戸II A	足利市	名草中町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1043	不入II A	足利市	松田町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1044	田中II A	足利市	松田町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1045	田ノ沢II A	足利市	名草上町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1046	中井II A	足利市	松田町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1047	江保地II B	足利市	名草上町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1048	道坂II B	足利市	栗谷町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1049	勘定谷戸II E	足利市	名草上町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1050	込縄II B	足利市	名草上町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1051	江保地II C	足利市	名草上町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1052	込縄II C	足利市	名草上町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1053	叶花II A	足利市	小俣町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1054	神谷II A	足利市	小俣町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1055	西ノ谷II A	足利市	栗谷町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1056	大船II A	足利市	栗谷町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1057	大船II B	足利市	栗谷町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1058	久保田II C	足利市	松田町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1059	不入II B	足利市	松田町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1060	清水II A	足利市	松田町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1061	多門道II B	足利市	大岩町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1062	須花II B	足利市	名草中町	R3	○	○	急傾斜
202-II-1063	須花II C	足利市	名草中町	R3	○	○	急傾斜
202-III-1001	入谷III D	足利市	樺崎町	R3	○	○	急傾斜
202-III-1002	田島町III B	足利市	田島町	R3	○	○	急傾斜
202-III-1003	名草下町III I	足利市	名草下町	R3	○	○	急傾斜
202-III-1004	樺崎町III E	足利市	樺崎町	R3	○	○	急傾斜
202-III-1005	今福町III D	足利市	今福町	R3	○	○	急傾斜
202-III-1006	今福町III E	足利市	今福町	R3	○	○	急傾斜
202-III-1007	安中III A	足利市	板倉町	R3	○	○	急傾斜
202-III-1008	勘定谷戸III D	足利市	名草上町	R3	○	○	急傾斜
202-III-1009	彦谷III A	足利市	葉鹿町	R3	○	○	急傾斜
202-III-1010	矢竹III A	足利市	松田町	R3	○	○	急傾斜
急傾斜地崩壊危険箇所					360箇所	355箇所	

箇所番号	箇所名	位置		指定	指定区分		自然現象の 種類
		市	町		警戒区域	特別警戒区域	
土砂災害警戒区域等指定箇所					642箇所	607箇所	

災害環境-12 宅地造成工事規制区域図



災害環境-13 山腹崩壊危険地区一覧（県環境森林部所管）

番号	地区名	位 置			直接保全対象		
		市町村	大字	字	人家戸数	公共施設	道路
1	半沢	足利市	小俣町	半沢	31		県道
2	鳴石	足利市	小俣町	鳴石	31		県道
3	荒倉	足利市	小俣町	荒倉	25		県道
4	岩切	足利市	小俣町	岩切	17		県道
5	長石(1)	足利市	松田町	長石	0		他
6	長石(2)	足利市	松田町	長石	0		他
7	中井	足利市	松田町	中井	68		県道
8	原向田	足利市	松田町	小寺	111		県道
9	大和田	足利市	名草上町	大和田	9		他
10	小坂	足利市	名草上町	坂本	89		県道
11	足松	足利市	名草上町	入縄	44		県道
12	町谷(1)	足利市	小俣町	叶花	67		県道
13	町谷(2)	足利市	小俣町	町谷	41		県道
14	中手	足利市	松田町	中手	99		県道
15	芝山	足利市	松田町	芝山	54		県道
16	清水	足利市	松田町	清水	113		県道
17	松山	足利市	松田町	松山	33		県道
18	谷	足利市	松田町	谷	183		県道
19	熊野	足利市	松田町	熊野	130	1	県道
20	小俣	足利市	小俣町	イリジュク	95		県道
21	月谷(1)	足利市	月谷町	五十部	51		他
22	月谷(2)	足利市	月谷町	スミカキ	39		高速道路
23	月谷(3)	足利市	月谷町	スミカキ	19		他
24	月谷(4)	足利市	月谷町	スゲサワ	85		県道
25	月谷(5)	足利市	月谷町	青沼	80		県道
26	田島(1)	足利市	田島町	ミネヤド	13		他
27	田島(2)	足利市	田島町	八坂	80		高速道路
28	田島(3)	足利市	田島町	小松沢	60	6	他
29	登戸	足利市	名草上町	登戸	42		他
30	管田	足利市	管田町	タノウサギ	16		高速道路
31	赤坂西	足利市	樺崎町	赤坂	38		高速道路
32	赤坂東	足利市	樺崎町	赤坂	59		他
33	大月(1)	足利市	大月町	東コウチ	14		他
34	大月(2)	足利市	大月町	西コウチ	98	5	国道
35	平石	足利市	山下町	平石	51	2	他
36	入沢	足利市	山下町	入沢	6		他
37	西根	足利市	大岩町	西根	84		他
38	本城(1)	足利市	本城町		122		他
39	五十部	足利市	五十部町	ツタガイリ	168	2	高速道路
40	内郷	足利市	五十部町	内郷	63		他
41	東山	足利市	五十部町	中堀	30		他
42	今福	足利市	今福町	タテイワ	101		県道
43	下山	足利市	本城町		143		県道
44	本城(2)	足利市	本城町		185	1	他
45	本城(3)	足利市	本城町		72		他
46	本城(4)	足利市	本城町		89		他
47	西の宮(1)	足利市	西宮町		100	2	他
48	西の宮(2)	足利市	西宮町		66		他

番号	地区名	位 置			直接保全対象		
		市町村	大字	字	人家戸数	公共施設	道路
49	一中西	足利市	西宮町		65	1	他
50	織姫	足利市	本城町		546	8	県道
51	丸山	足利市	助戸町		123	1	他
52	借宿	足利市	借宿町	センゲンヤマ	195		県道
53	寺の入	足利市	西場町	寺の入	26		他
54	毛野	足利市	毛野町		229	4	県道
55	磯入	足利市	大沼田町	磯入	5		
56	猪子	足利市	松田町	四代地	1		県道
57	東山	足利市	葉鹿町	彦谷	74	11	他
58	宮前	足利市	松田町	宮前	137		県道
59	春日岡	足利市	山下町	春日岡	202		他
60	常念寺	足利市	西宮町	フメイ	115	4	県道
61	下山(2)	足利市	本城町	フメイ	76	5	他
62	入西	足利市	樺崎町	入西	16	3	高速道路
63	鷹の巣	足利市	大沼田町	鷹巣	21	4	他
64	稲見山	足利市	稲岡町	稲見山	6	4	他
65	大平	足利市	名草上町	大平	0		他
66	原畑	足利市	松田町	湯の沢	0		他
67	たじま荘裏	足利市	田島町		39	6	他
68	山下	足利市	山下町		66	3	他
69	準ノ西山	足利市	葉鹿町		14	6	他
70	妙法寺	足利市	大前町		152	4	他
71	坂西北小裏	足利市	板倉町		157	1	県道
72	鹿島神社	足利市	小俣町		19	1	県道
73	毛野中裏	足利市	八柵町		4		他
74	山川	足利市	山川町		57		他
75	鹿島園	足利市	大沼田町		6	4	他
76	下山(3)	足利市	本城町		80	4	他
77	やまわり	足利市	大沼田町		38	3	他
78	もちぶね	足利市	田島町		1		
79	明石弁天	足利市	本城町		78	1	他
80	樺崎	足利市	樺崎町		6		国道
81	小松沢	足利市	田島町	小松沢	3	1	他
82	薬師部	足利市	田島町	薬師部	71		他
小計	82箇所						

災害環境-14 崩壊土砂流出危険地区一覧（県環境森林部所管）

番号	地区名	足利市		直接保全対象		
		大字	字	人家戸数	公共施設・	道路
1	荒倉沢	小俣町	荒倉	10		県道
2	八斗沢	小俣町	八斗沢	6		県道
3	半沢入	小俣町	半沢	23		県道
4	宮下入	小俣町	森出	10	1	
5	悪戸沢	小俣町	悪戸	15		県道
6	岩切沢	小俣町	岩切	8		県道
7	白葉	小俣町	白葉	13		県道
8	大野手沢	松田町	原畑	2		他
9	赤泥沢	松田町	原畑	1		他
10	尚の沢	松田町	オオノサワ	37		県道
11	四台地	松田町	四台地	70		県道
12	長石	松田町	長石	10		県道
13	湯の沢	松田町	湯の沢	100		県道
14	宮の沢	松田町	原	34		県道
15	入山	松田町	入山	18		他
16	南重根	名草上町	南重根	4		他
17	夏畑	名草上町	夏畑	3		他
18	足松沢	名草上町	足松	21		他
19	コガヌケ沢	小俣町	叶花	46		県道
20	西ノ谷	栗谷町	西ノ屋	26		他
21	滝ノ入	栗谷町	滝ノ入	64		他
22	芝山沢	松田町	芝山	5		他
23	中手沢	松田町	中手	8		他
24	松山入	松田町	松山	0		他
25	松山沢	松田町	松山	8		他
26	田の沢	松田町	田の沢	74		県道
27	不入(1)	松田町	不入	42		他
28	不入(2)	松田町	不入	37		他
29	馬打(1)	月谷町	青沼	16		県道
30	矢竹	松田町	矢竹	59		他
31	矢竹沢	松田町	矢竹	18		他
32	江保地	名草上町	江保地	23		他
33	須花	名草上町	須花	8		市道
34	入谷(1)	樺崎町	ダケコシ	29		他
35	金丸	板倉町	大平	58		他
36	菅沢	月谷町	菅沢	59		他
37	杓子谷戸(1)	名草下町	杓子	39		県道
38	杓子谷戸(2)	名草下町	杓子	29		県道
39	持舟	名草下町	持舟	31		他
40	入谷	樺崎町	入西	43		他
41	ナベト沢	樺崎町	入西	11		他
42	塩坂	樺崎町	入東	22		高速道路
43	彦谷	葉鹿町	大阪	4		他
44	小彦谷	葉鹿町	東山	0		他
45	入沢	山下町	入沢	19		他
46	大前	山下町	大平	75		高速道路
47	反田	五十部町	反田	31		高速道路
48	中の丸	大岩町	宮入	62	1	高速道路
49	大岩	大岩町	多聞道	42		高速道路
50	多聞道	大岩町	多聞道	39		高速道路

番号	地区名	足利市		直接保全対象		
		大字	字	人家戸数	公共施設・	道路
51	大沼田(1)	大沼町	坂本	38	2	他
52	大沼田(2)	大沼町	表入	66		他
53	駒場	板倉町	駒場	14		他
54	阿戸	板倉町	出合	28		他
55	久保田	松田町	久保田	27		他
56	大阪	名草下町	田ノ入	3		他
57	久保田(1)	松田町	久保田	30		他
58	湯の沢(1)	松田町		42		県道
59	尚の沢(1)	粟谷町		0		他
60	宮ノ入	田島町	久保	1		他
61	小俣	小俣町	森出	13		県道
62	角欠	月谷町	角欠	45		高速道路
63	本城	本城	1丁目角欠	44		他
64	粟谷	粟谷町	赤岩	0		他
65	森出	小俣町	森出	19	3	県道
66	入西	樺崎町	入西	15	3	高速道路
67	名草清水	樺崎町	名草	49		県道
68	タカノス沢	松田町	赤雪	0		他
69	大沼田(3)	大沼田町	中根	29	6	他
70	岩本沢	名草上町	岩本	22		他
71	遅沢	松田町	湯の沢	0		他
72	野山入山	松田町	入山	0		他
73	鹿島園	大沼田町	西根	15		他
74	大沼田(4)	大沼田町		34	2	他
75	松山	松田町	松山	15		他
76	小田入沢	小俣町	神谷	27		県道
77	神谷	小俣町	神谷	30		県道
合計	77箇所					

栃木県地域防災計画 資料編 2-8-5 山地災害危険地区（環境森林部所管）一覧表
 （山腹崩壊危険地区・崩壊土砂流出危険地区・地すべり危険地区）

1 総括表

（令和4年4月1日現在）

市町	危険地区数			市町	危険地区数				
	山腹崩壊	崩壊土砂流出	地すべり		山腹崩壊	崩壊土砂流出	地すべり		
宇都宮市	(0) 106	58	48	0	益子町	(1) 44	(1) 26	18	0
足利市	(1) 159	82	(1) 77	0	茂木町	(0) 217	157	53	7
栃木市	(0) 117	56	61	0	市貝町	(0) 58	51	5	2
佐野市	(2) 278	124	(2) 154	0	芳賀町	(0) 6	6	0	0
鹿沼市	(4) 762	344	(4) 416	2	塩谷町	(3) 107	(3) 46	61	0
日光市	77 833	(37) 451	(40) 381	1	高根沢町	(0) 12	12	0	0
真岡市	(0) 9	7	2	0	那須町	(15) 229	(5) 151	(9) 77	(1) 1
大田原市	(4) 343	(1) 234	(3) 109	0	那珂川町	(5) 280	(2) 140	(3) 138	2
矢板市	(5) 95	(3) 71	(2) 22	2					
那須塩原市	(28) 173	(14) 100	(13) 72	(1) 1					
さくら市	(0) 58	51	7	0					
那須烏山市	(0) 245	182	60	3	計	(145) 4,131	(63) 2,349	(78) 1,761	(4) 21
					合計	4,276	2,412	1,839	25

上段()内数字は国有林内の山地災害危険地区数で内
 下段数字は民有林内の山地災害危険地区数

注) 危険地区の定義

山地災害危険地区	山腹崩壊危険地区	地形（傾斜、土層深）、地質、林況等からみて、山腹崩壊により人家、公共施設に被害を与えるおそれがある地区
	崩壊土砂流出危険地区	地形（傾斜、土層深、溪床勾配）、地質、林況等からみて、山腹崩壊等により発生した土砂が土石流となって流出し、人家、公共施設に被害を与えるおそれがある地区
	地すべり危険地区	地すべりが発生している或いは地すべりが発生するおそれがある区域のうち、人家、公共施設に被害を与えるおそれがある地区

災害環境-15 崩壊土砂流出危険地区一覧（国有林内）

番号	地区名	足利市		直接保全対象		
		大字	国有林名	人家戸数	公共施設・	道路
1	大坊山	大沼田町	大坊山国有林171林班	104	1	市道
合計	1箇所					